



JANOG58

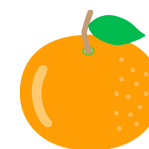
MEETING IN MATSUYAMA

JANOG58
プログラムアンケート
集計結果

新人のためのインターネット&ネットワーク超入門2026	6
JANOG58スタートガイドIT	7
野良BoFフラッシュ	8
「生成AIを用いたネットワーク監視」の実運用課題と利用コスト～そのM、いくらかかっていますか？～	9
ネットワーク監視の自動化はどこまでできるのか-Apache Airflowによるアラート対応基盤	10
Agent skillsとMCP Appsを活用した伴走型AIOpsについて	11
CLIパーサーからの脱却ーモデル駆動型プラットフォームによるマルチベンダー検証の完全自動化	12
データセンター構築・移設のリアルー国内外の事例から考えるスムーズな進め方～	13
巨人が育てた好敵手達～競争と訴訟、そして知財が導いた進化論～	14
プライベートクラウドを継承するーCycloudのネットワークを全面刷新した話	15
国内でCDN作ってる人集まれ！～国内のCDN事業者の実際の話～	16
プラットフォームにおける組織間対話の重要性- 実例から見るNWにおけるソフトウェア運用-	17
井戸端オープンマイクゆる～く話そうJANOGの未来	18
あのネットワーク技術の今と予想する0年後	19
JANOGerのみなさん！地域NOGに参加してみませんか？	20



そのトラフィックは誰のため？生成AIがもたらす「AI-to-AI」通信時代のNWデザイン	22
爆発するMACアドレスとの戦いEVPN VESPA/仮想イーサネットセグメントとProxy ARPの活用	23
モバイル運用における生成AIの現場実践～基地局保守・コア保全から事故統制まで～	24
ネットワークOSの運用ライフサイクルを考える- AIを活用したネットワークOS選定の省力化	25
景観保護のための空間光通信(FSO)活用事例～松山城周辺の観光を支える次世代インフラ～	26
ベテランエンジニアの「勘」はLMに移植できるのかRAGで再現できるもの・できないもの	27
RPKIキャッシュサーバの課題と提案より信頼できるRPKIを目指して	28
ライトニングトーク	29
運用者自らがどこまで自動化できるのか？～ゼロタッチ運用の実践と継承課題～	33
2026 WORLD BASEBALL CLASSIC™ ～侍JAPANとJANOG侍の戦い～	34
耐量子計算機暗号への移行準備してますか？～2030年台の安全なネットワークに向けて～	35
バックボーンをスケールアウトで運用する段階へ～DDBR商用化までの歩みと、実運用に渡して見えた論点～	36
遠くの国のモバイル回線をどう知るか	37
Rack-Scale GPUサーバのNW設計と運用までの苦悩	38
どうする？どうなる？ これからのログ保存	39
初心者LT	40
若手エンジニアは何を学ぶ？～現在地とこれから～	44
JC2を考える	45
WGをやってみよう	46



NOC全体に生成AIを届ける ～閉域商用網で使えるセキュアなI共通基盤づくり～	48
人のための自動化がAIエージェント運用への道を拓くー IOWN APN × VXLAN/EVPNをまたぐマルチレイヤ抽象化の実践	49
AIが工事を担う時代に技術者は育つのか ～現地完結型が突きつけるスキル維持の課題～	50
『坂の上の雲』へ続く道は、どこにあるのかー ネットワークに関わる人の最初の一步と、その先へのつながりを考える	51
日本のBGP運用	52
アドレスポリシーの成熟と継承～ポリシーの意義・将来を考えよう～	53
朝から晩までMCP ― AI エージェントと私	54
NOCいよかんトーク～24/365のリアル語って、未来への「いい予感」創るぞなもし～	55
マルチベンダーバックボーンで実現するDoS対策 ～RFC Internet-DraftのBGP Flowspec Redirect-to-IP導入への挑戦～	57
NWTポロジ－可視化から時系列化へBGP-LS+BMP+αによるトポロジ－把握の時間軸拡張	58
ユーザ影響規模に縛られない次世代夜間作業の作法 ～止められぬNWを、止めずに変える～	59
AIインフラ時代のデータセンター内光配線の実践知～高密度実装の課題と解決策～	60
JANOG57で話題となった、ネットワークの基礎を学べるボードゲームで一緒に遊びませんか？	61
AI showcase LT～見せます私のAI活用方法～	62
コミュニティ紹介LT -JANOGから広げる繋がり	66
インタラクティブLT	67
JANOG Update + オープンマイク	69



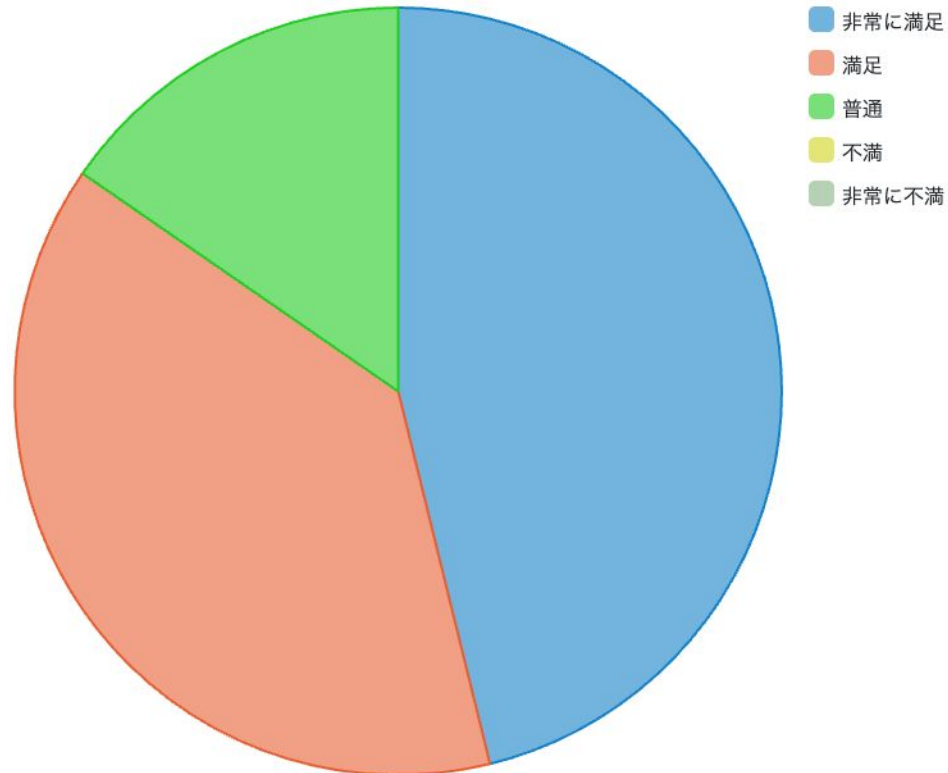
Day1 プログラム



JANOG58
MEETING IN MATSUYAMA

新人のためのインターネット&ネットワーク超入門 2026 の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	6	46.15%
満足 (A002)	5	38.46%
普通 (A003)	2	15.38%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	13	100.00%



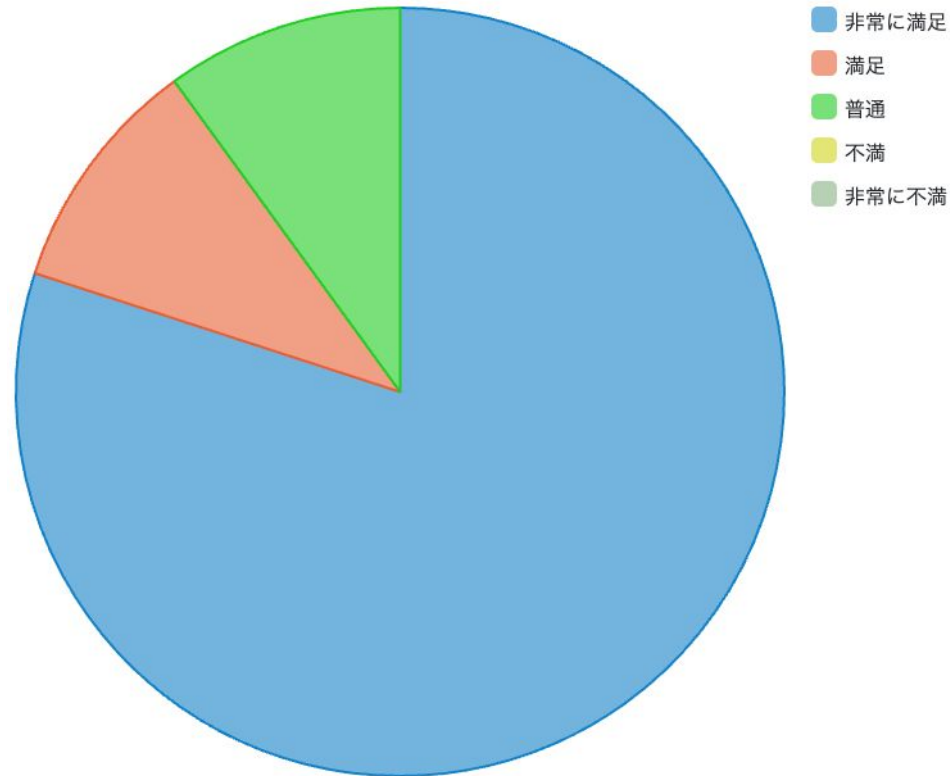
感想/意見

- 非常に分かりやすい資料と解説ありがとうございました。
- 弊社(Sier)の新人向けのNW分野の勉強コンテンツとして使わせていただきたいと思います。
- 階層ごとに丁寧に説明されていては大変わかりやすかったです。
- 大変勉強になりました、ありがとうございました。
- 私も聞きましたし、社内で新たにNW事業に関わる方にも受講いただきました。業界の中での必要となる知識などがわかりやすくまとめられており、大変ありがたかったです。



JANOG58スタートガイドLT の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	8	80.00%
満足 (AO02)	1	10.00%
普通 (AO03)	1	10.00%
不満 (AO04)	0	0.00%
非常に不満 (AO05)	0	0.00%
合計(総合)	10	100.00%



感想/意見

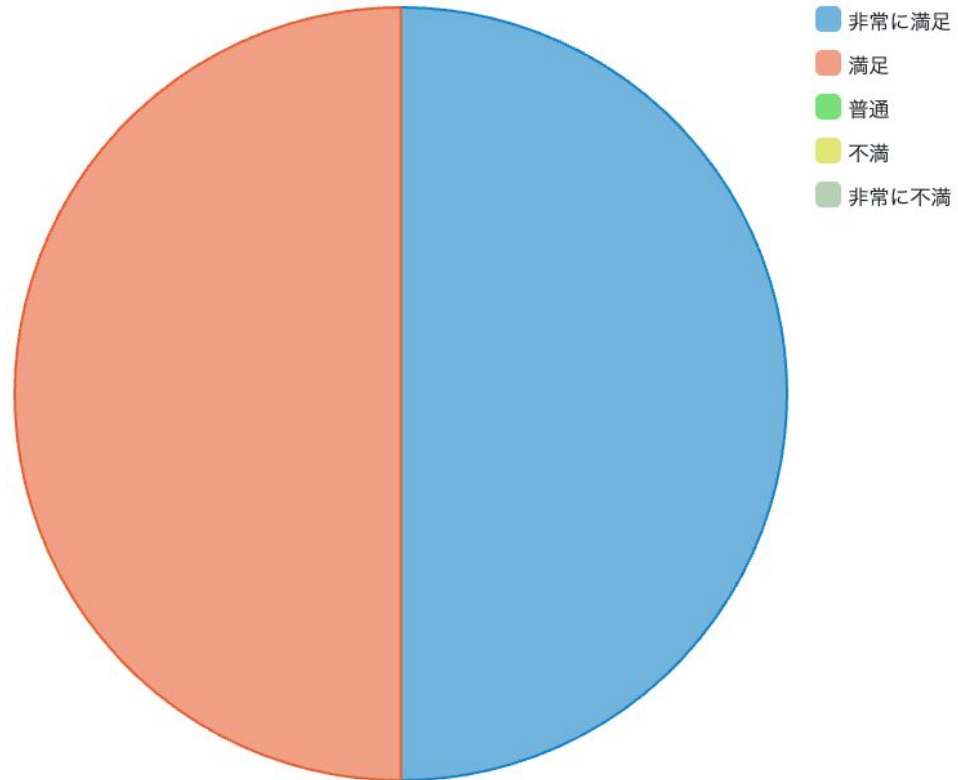
- 知らなかった企画やホストの思いを把握できたのでよかったです。
- こういう取り組みは次回以降も続けてほしいです。
- ホストや実行委員のこだわりが知ることができる面白いプログラムだと思います。だからこそ、人が少ないDay1午前ではなく午後とかにやってもいいのかなと思いました。





野良BoFフラッシュ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	3	50.00%
満足 (A002)	3	50.00%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	6	100.00%



感想/意見

•

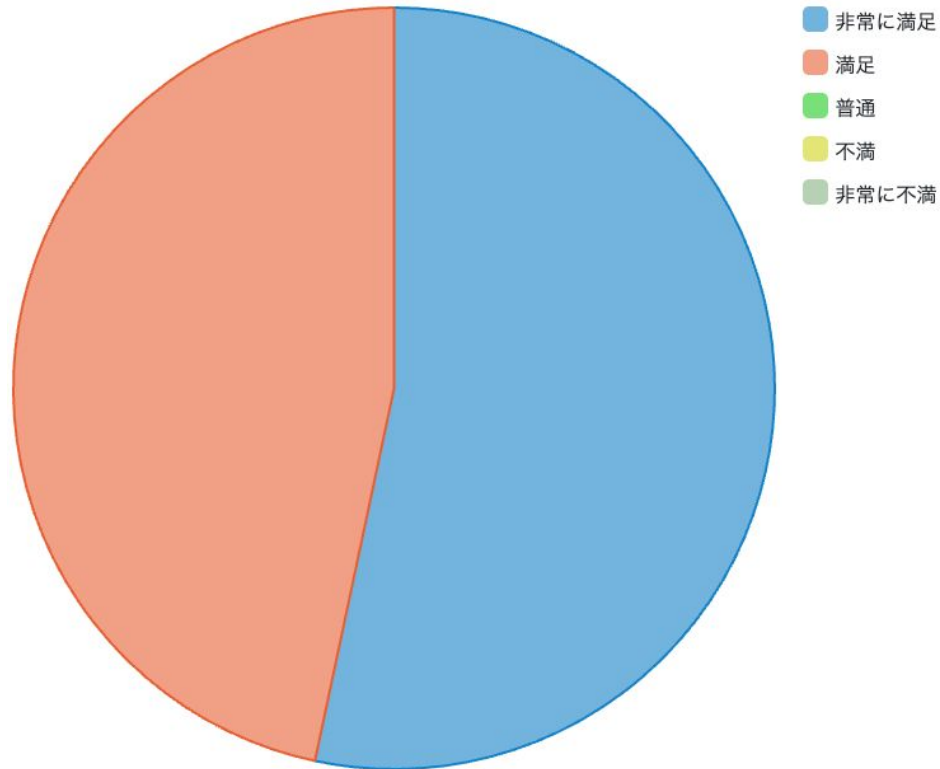




「生成AIを用いたネットワーク監視」の実運用課題と利用コスト～そのLLM、いくらかかってますか？～

「生成AIを用いたネットワーク監視」の実運用課題と利用コスト～そのLLM、いくらかかってますか？～の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	8	53.33%
満足 (AO02)	7	46.67%
普通 (AO03)	0	0.00%
不満 (AO04)	0	0.00%
非常に不満 (AO05)	0	0.00%
合計(総合)	15	100.00%



感想/意見

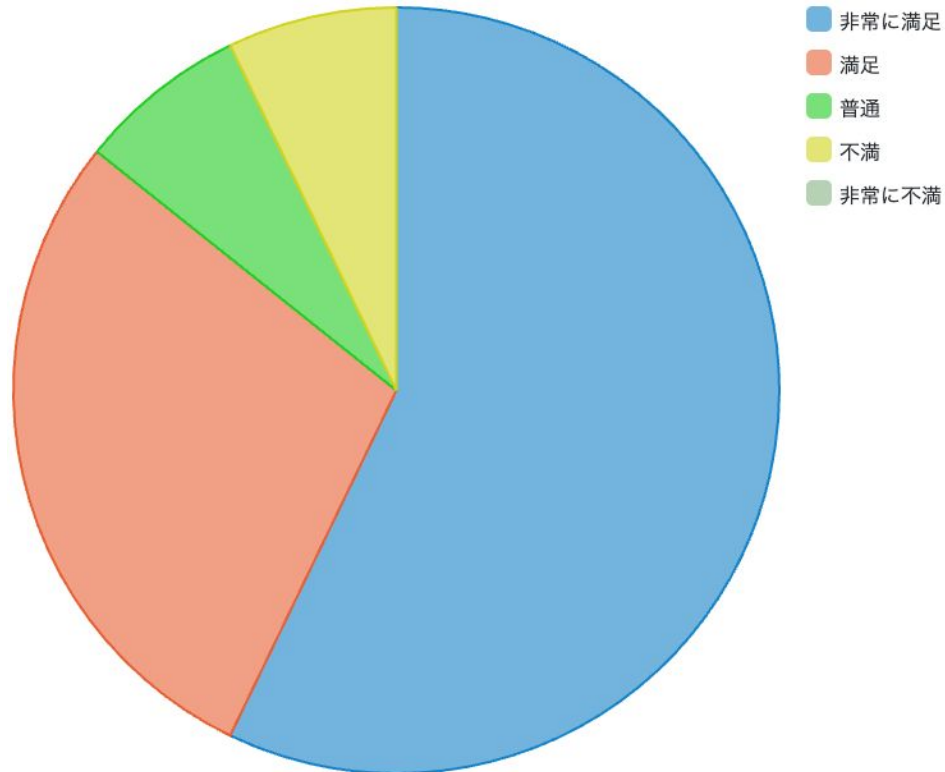
- ・ 稟議に労力が割かれてしまう事案が一番刺さった
- ・ ローカルLLMの利用については考えるべきではあるが、ローカルLLMについては①ハードウェアの調達運用コスト、②ローカルLLMのセキュリティ構成に関するコスト、などが発生するため、クラウドLLMを利用したほうが結果として安い可能性もあると考えている。ローカルLLMに関する性能改善やローカルLLM運用エコシステムの成熟を見据えつつ、ハイブリッドで試用していくことが必要か考える。ぜひローカルLLM利用の先行例として進展あればぜひご紹介等頂きたい。
- ・ AIを使ったNW監視について、技術的な面だけでなく、費用面から紹介いただき、大変興味深かったです。
- ・ どれだけ稼働含めたコストを意識して使っているかという切り口で、会場からの反応も適宜求められるなど、参加型の議論でAIを使っている身からもためになる内容でした。





ネットワーク監視の自動化はどこまでできるのか? -Apache Airflowによるアラート対応基盤- の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	8	57.14%
満足 (AO02)	4	28.57%
普通 (AO03)	1	7.14%
不満 (AO04)	1	7.14%
非常に不満 (AO05)	0	0.00%
合計(総合)	14	100.00%



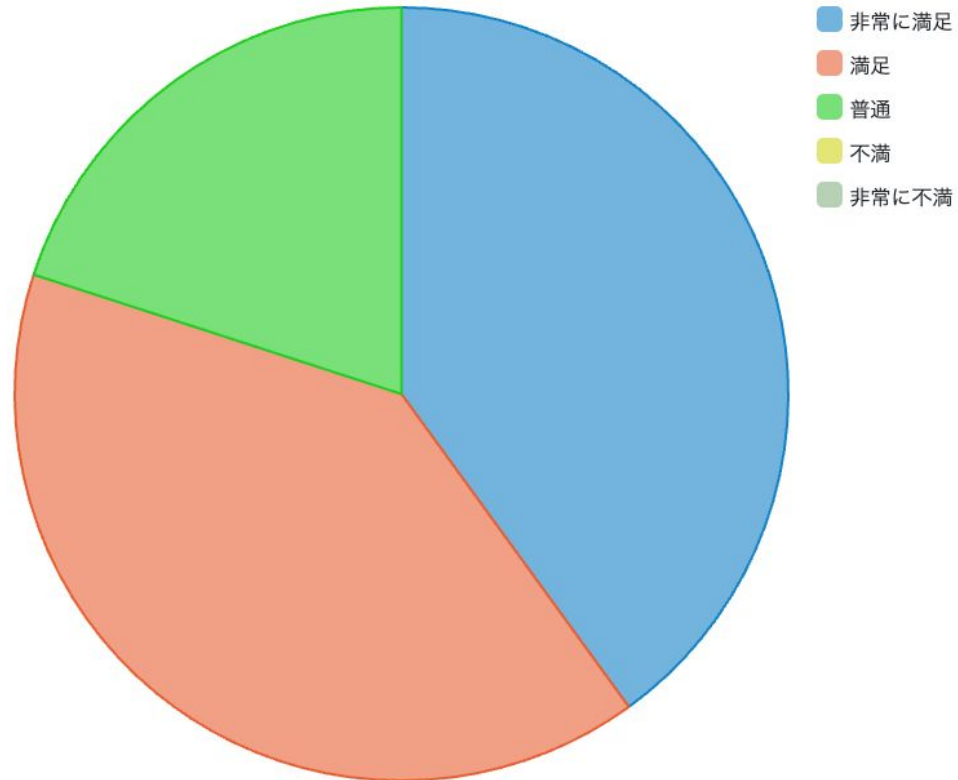
感想/意見

- Platform Engineeringと監視自動化の取り組みとを組み合わせた感じの話で面白かったです。
- 内製いいね！
- アラート対応はよくやっていますが、自動化はまだまだこれからといった段階で、事例などを交えて紹介いただき自社の参考にもなりました。
- 特に新しい議論もなく、単純にAirflowの紹介に寄っている部分があったと思う



Agent skillsとMCP Appsを活用した伴走型AIOpsについての満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	6	40.00%
満足 (A002)	6	40.00%
普通 (A003)	3	20.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	15	100.00%



感想/意見

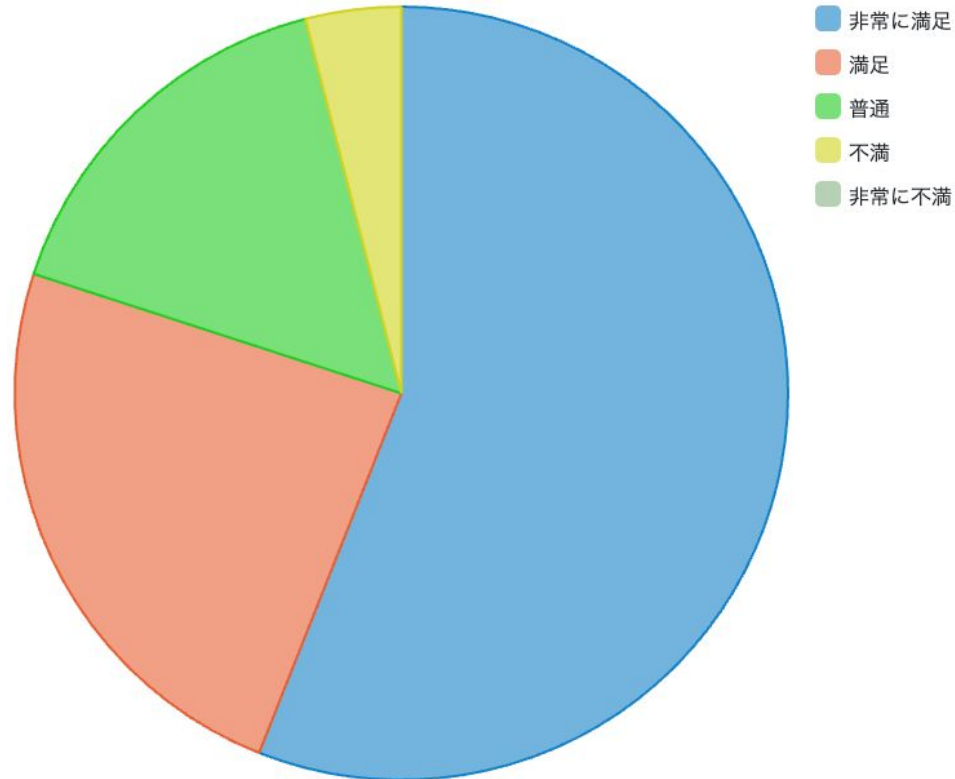
- MCP Appsで何ができるのか、というのを知らなかったもので、デモで見せてもらえたのはとても参考になりました。状況やオペレータの求める情報にチューニングした構成図を動的に生成できる...みたいな世界が実現できるととてもいいなと思いました。
- 聞いてみたかった内容、事例集だった
- MCP Appsは映え狙いにしか写らず。個人的には刺さらなかった
- 前提知識が少ない人向けの説明がもう少しあるとよかった
- 自社でもここまでいけると理想だなという内容でした。実際の動作画面も紹介いただきわかりやすかったです。





CLIパーサーからの脱却 - モデル駆動型プラットフォームによるマルチベンダー検証の完全自動化 の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	14	56.00%
満足 (A002)	6	24.00%
普通 (A003)	4	16.00%
不満 (A004)	1	4.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	25	100.00%



感想/意見

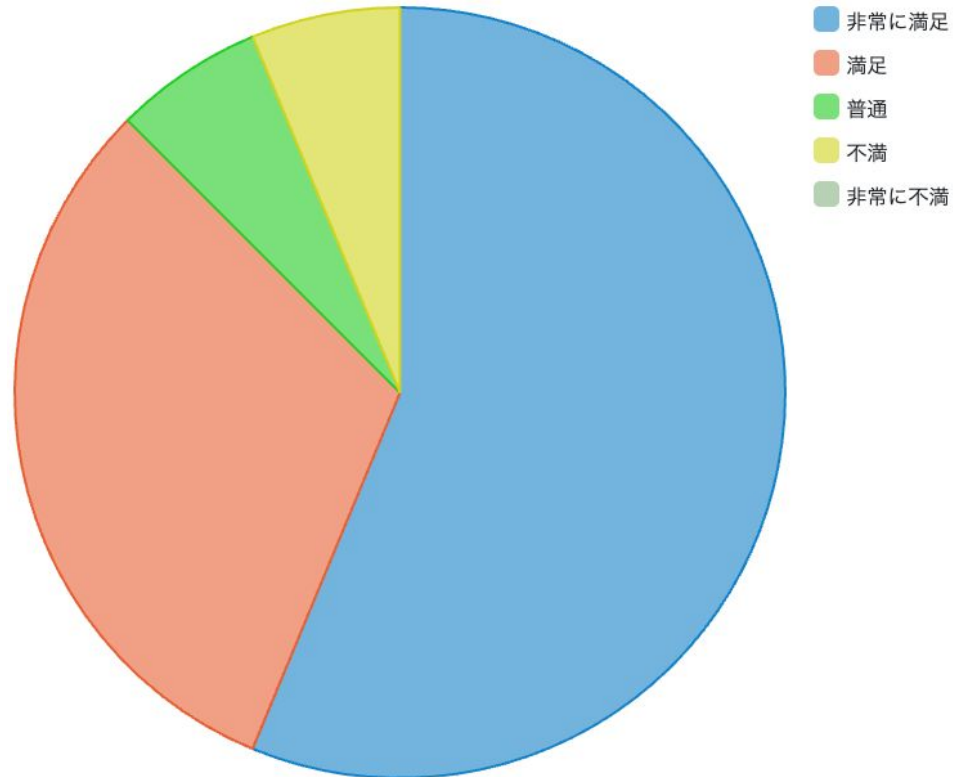
- 難しいでした言葉も
- 質疑が面白かったです。大規模運用や自動化について知見が浅いですが、YANGを使ったOpenConfigってこういう時に生きてくるのか、とまだ言語化はできないレベルなのですが、気づきがありました。ありがとうございました。
- OpenConfigに対応しているかをどう見極めているか聞きたかった
- OpenConfigである理由が少し弱いと感じた。AI時代になるとVendor Nativeで問題ない要素が増えてきてるのではと思った。
- 抽象化のステップやつまずきポイントも聞きたかった
- 結局CLIベースの自動化と比較して得られる効果が薄く見え、意味のある自動化手法とならないものだと感じたそれなのに2回も発表していることについて、プログラム選定について疑問が残った





データセンター構築・移設のリアル～国内外の事例から考えるスムーズな進め方～の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	9	56.25%
満足 (A002)	5	31.25%
普通 (A003)	1	6.25%
不満 (A004)	1	6.25%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	16	100.00%



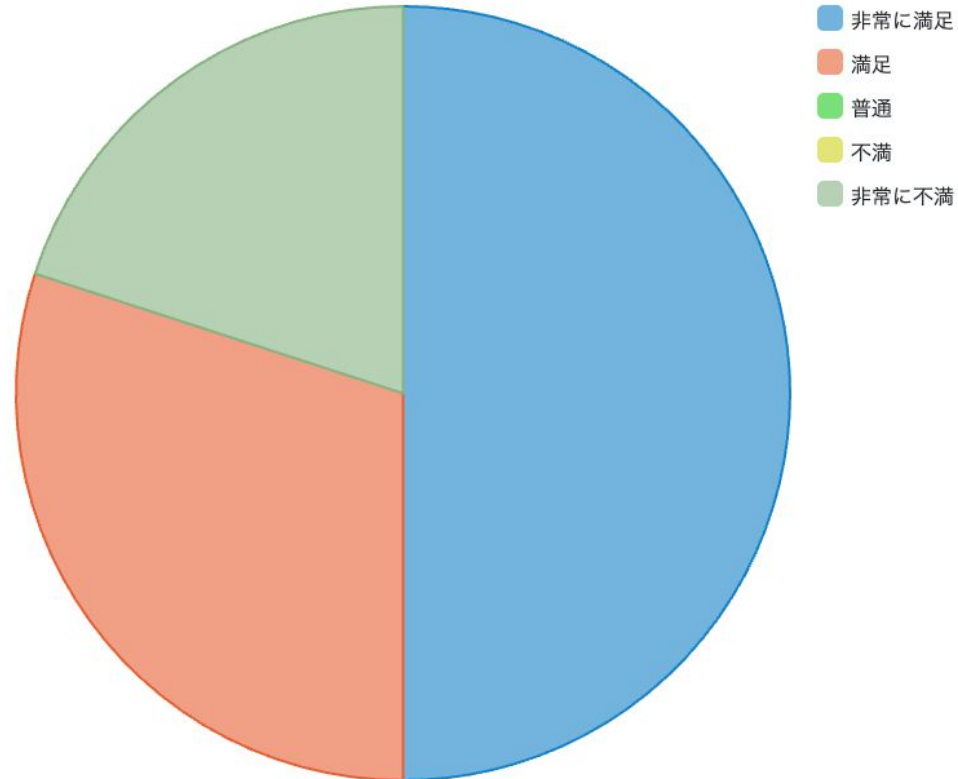
感想/意見

- ネットワークの基本が詰まって良かった。似たような体験を若手に経験させるにはどうしたら良いかなあ
- 様々なハプニングが聴けて参考になりました
- タイトルにミスリードがある。データセンター一般の話として参考になる点はあまりなかった。



巨人が育てた好敵手達～ 競争と訴訟、そして知財が導いた進化論 ～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	5	50.00%
満足 (A002)	3	30.00%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	2	20.00%
合計(総合)	10	100.00%



感想/意見

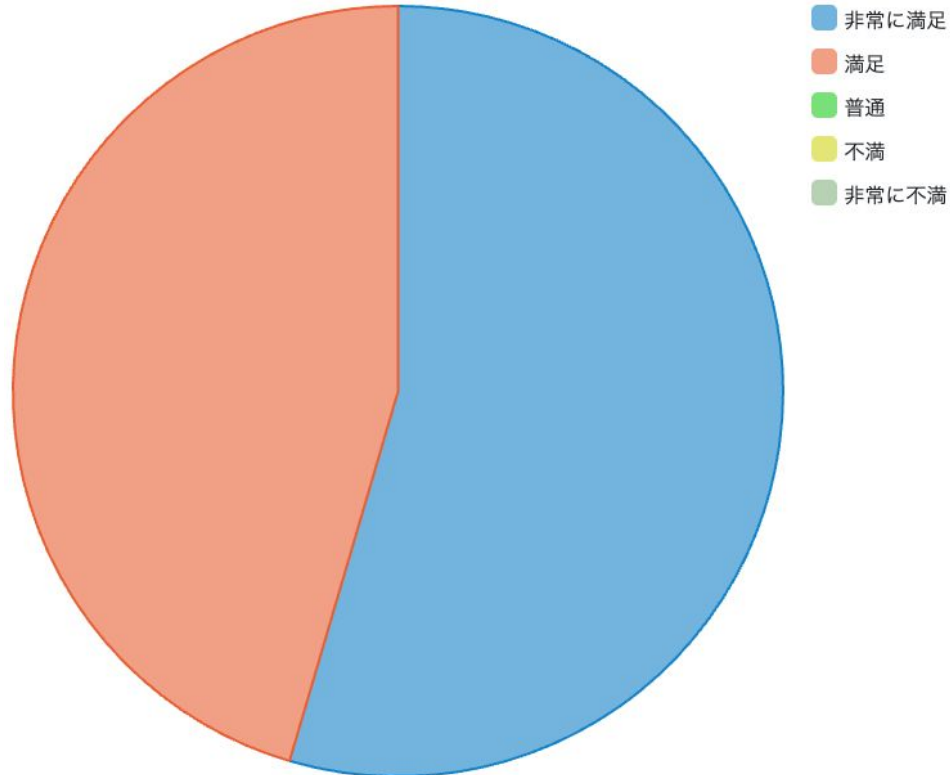
- 紹介事例が単なる羅列に見えて、ストーリー性が感じられなかった。全体として何を主張したいのかがわからなかった。
- 企業行動の分析が主で、ユーザに対する影響について取ってつけた感が否めない。特定の話だけに注目して議論した方が良かったのでは？この話を聞いて中秋に何を持ち帰って欲しかったのが不明。
- 第三者が話すのであればよかったかも。





プライベートクラウドを"継承"する – Cyccloudのネットワークを全面刷新した話 の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	12	54.55%
満足 (A002)	10	45.45%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	22	100.00%



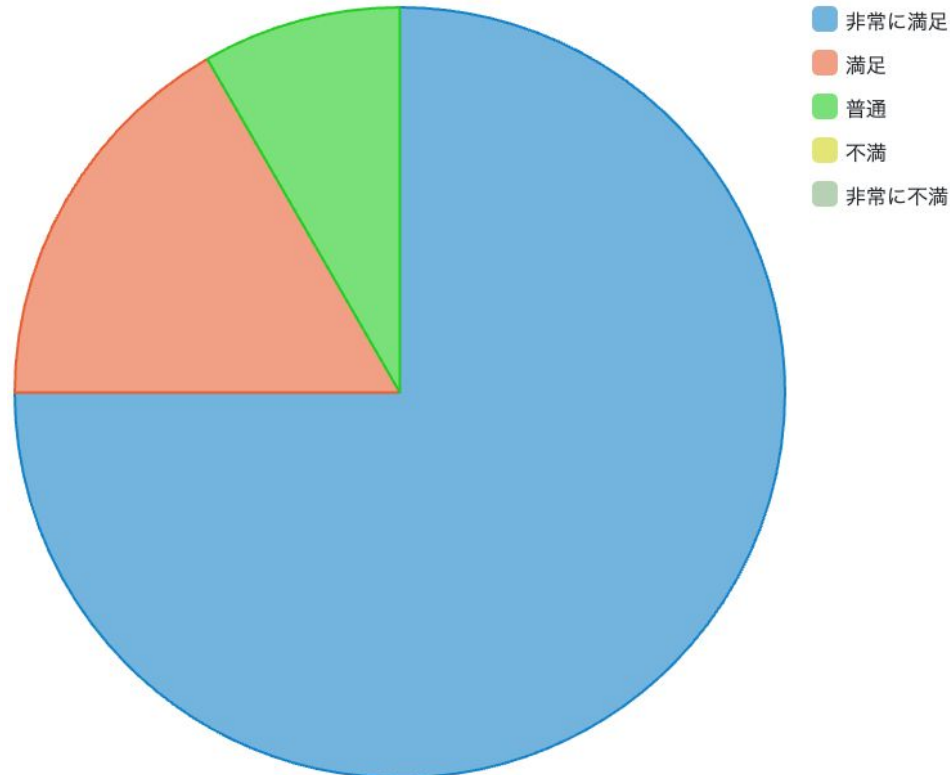
感想/意見

- 挑戦的な課題に挑み得られた知見の共有、その上で発生した課題と論点の整理、様々な関係者による活発な議論、とても質の高いセッションだったように思う。
- パブリッククラウドの世界で生きていたので、プライベートクラウドという考え自体初めて知りました。
- 我々がクラウド技術を便利に使える裏側には高度な知識を持って、設計を行ってきたエンジニアの方々がいるのだなと感じました。そういった、ブラックボックスになってしまっている実際のネットワーク機器の世界にも興味を持てました。
- 従来の基盤ではアップグレードをするのではなく一括移行を代々やっていた、という内容に驚いた。VPCとRoute Type 5の連携についてはもう少し詳しく知りたいと思った。
- 取り組んだテーマが多く一つ一つの課題の説明があっさりだったのと、自分の技術レベルが低いのが相まって、全体的について行けなかった。
- パブリッククラウドのユーザですが、素朴に気になっていたVPCの作り方のお話を伺うことができ、とても有益でした！



国内でCDN作ってる人集まれ！～国内のCDN事業者の実際の話～の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	9	75.00%
満足 (A002)	2	16.67%
普通 (A003)	1	8.33%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	12	100.00%



感想/意見

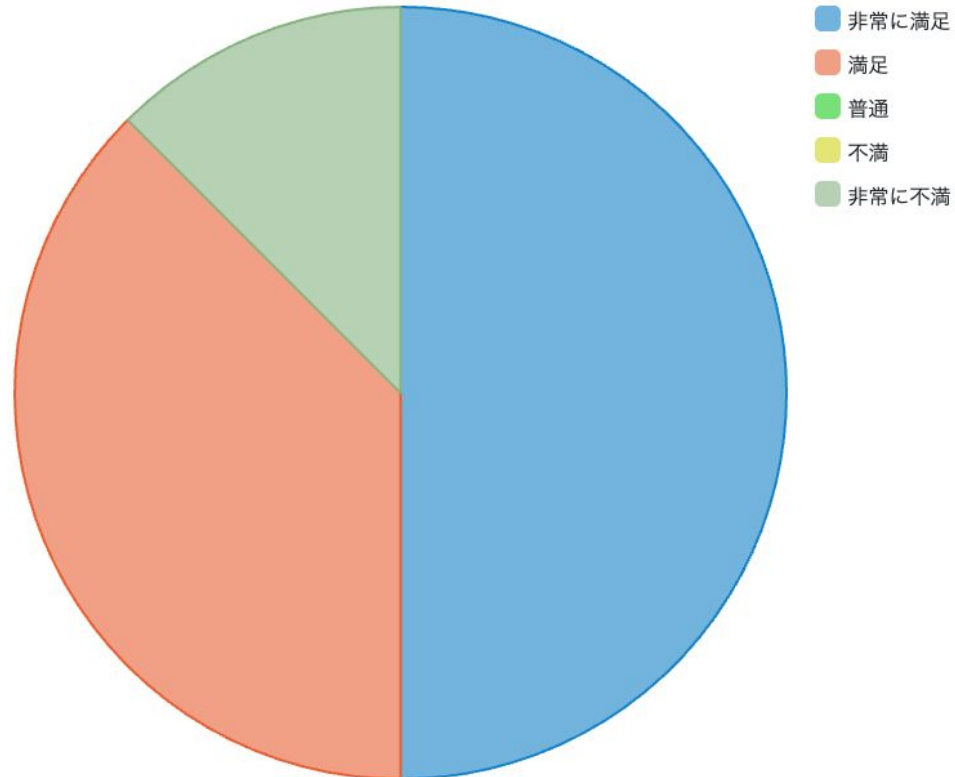
- ・ 時間が足りず終わってしまったのが残念です。
- ・ CDN事業者は海外が有名ですが、国内にもこれだけ試行錯誤されている方いるんだな、と新たな気付きになりました。





プラットフォームにおける組織間対話の重要性 - 実例から見るNWにおけるソフトウェア運用 - の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	4	50.00%
満足 (A002)	3	37.50%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	1	12.50%
合計(総合)	8	100.00%



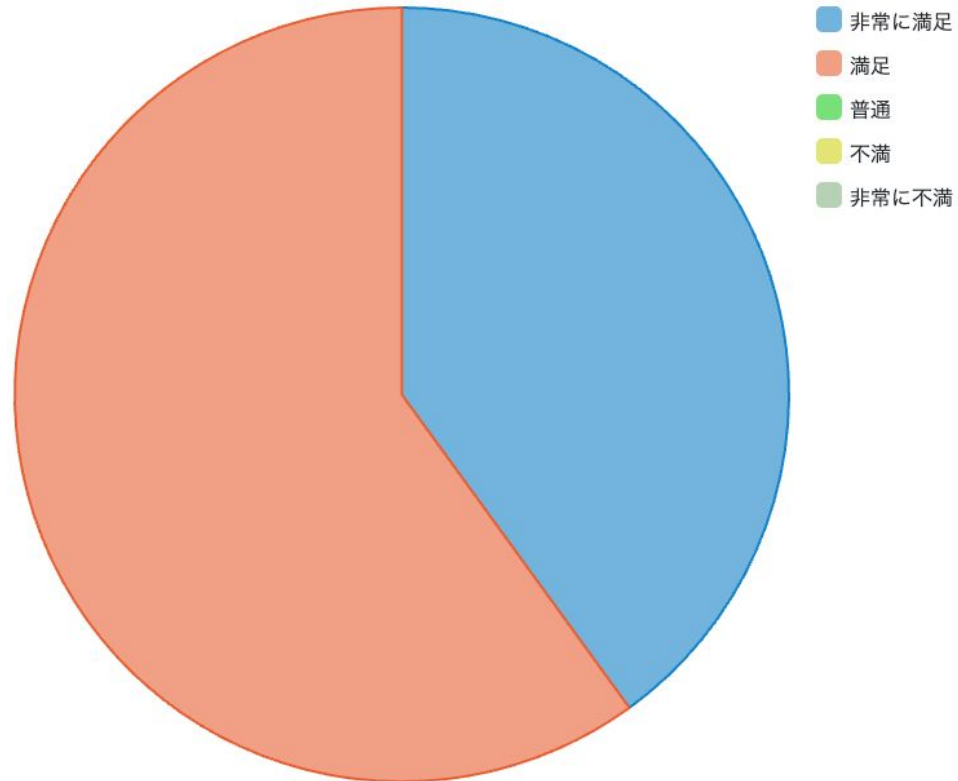
感想/意見

- 前回の自分の発表を、様相以上のクオリティで拡張していただいた素晴らしいセッションでした。サイボウズさんだけでなく、今回議論に参加していただいたLYさんやPFNさんの事例もぜひ聞いてみたいと思います。
- なかなか一般化が難しい内容だと思いますが、一つの実例が聞けてよかったと思います。会社の風土というか空気感というか、アンテナの高いプレイヤーの振る舞いをうまく組織に落とし解を一旦見つけたというようで、参考にしたいと思います。
- 組織改編は、トップダウン、ボトムアップどちらからだったか聞けばよかった
- 物理を触ったことのないNWエンジニア
- タイトルと内容が合っていない



井戸端オープンマイク ゆる〜く話そう JANOGの未来 の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	2	40.00%
満足 (A002)	3	60.00%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	5	100.00%



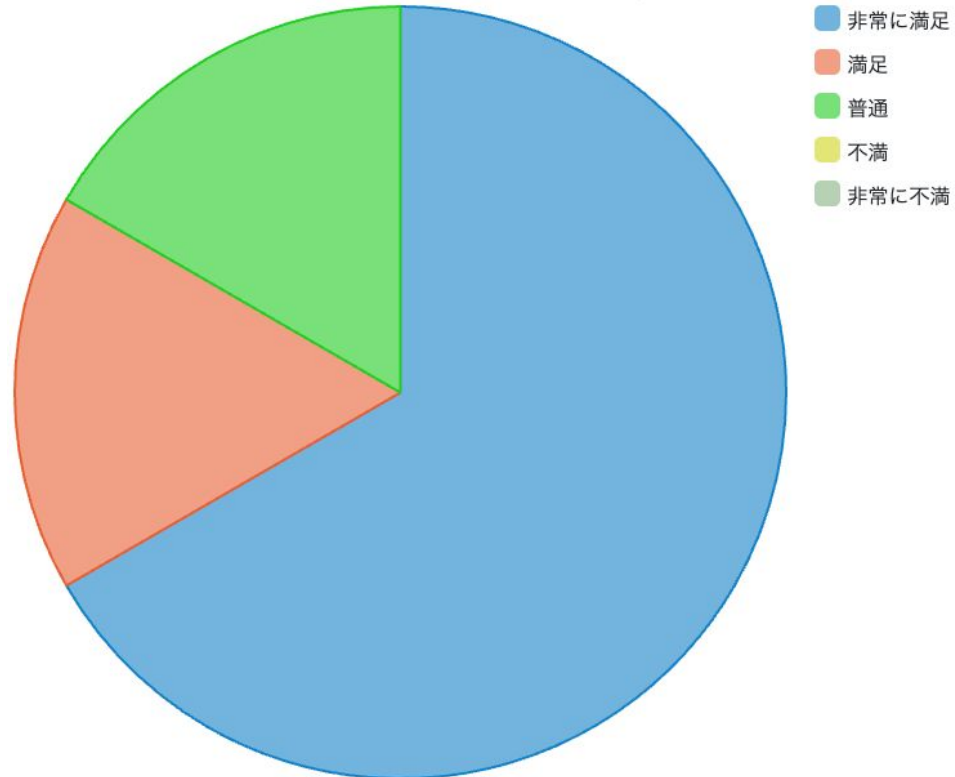
感想/意見

- JANOGは二回目の参加で、半分くらいは何を言っているか分からなかったのですが、こう言う場が用意されているのは非常に良い事だと思いました。JANOG自体、この御時世に参加者が増えているって凄い事だと思います。JANOGの未来ってどうなるんだろう？て思いました。
- 次回以降も開催して欲しい
- 深い話ができたとし、率直な意見が出たようにも感じて、とても良かったと思います。



あのネットワーク技術の今と予想する10年後の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	4	66.67%
満足 (A002)	1	16.67%
普通 (A003)	1	16.67%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	6	100.00%



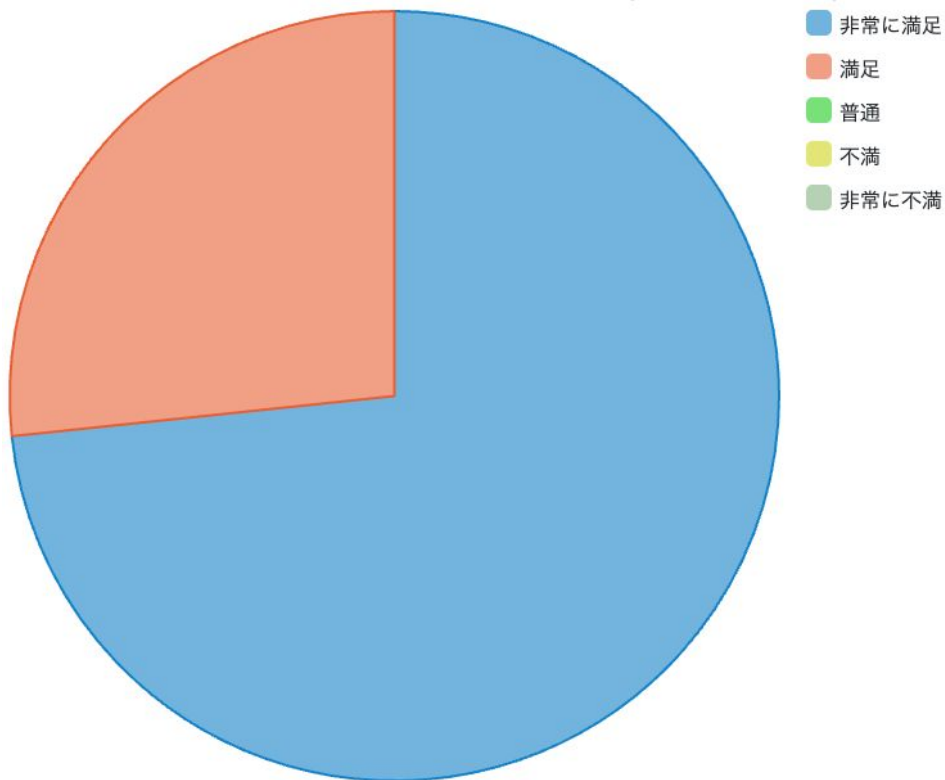
感想/意見

- 3つのテーマが、絡んでいるようで絡んでいないようで、不思議な感じでした。ITのちょっと時間が長いといったものなののでしょうか。
- NHKの方の意見を聞けて貴重だった。



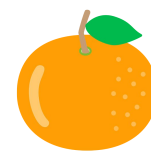
JANOGerのみなさん！地域NOGに参加してみませんか？の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	11	73.33%
満足 (AO02)	4	26.67%
普通 (AO03)	0	0.00%
不満 (AO04)	0	0.00%
非常に不満 (AO05)	0	0.00%
合計(総合)	15	100.00%



感想/意見

- 各NOGの活動方針や開催方法の違いが聴けて参考になりました
- 地域NOGは、なかなか地域外の人だと参加してよいのかわからないのと、モチベーションがなかなか上がらないといったところもあり、観光と合わせるとか考えたいと思いました。
- 各地域での取り組みや課題が見えたのでよかった。
- 各地域NOG事の悩みを共有できたのが良かったです。たいへん参考になりました。



Day2 プログラム

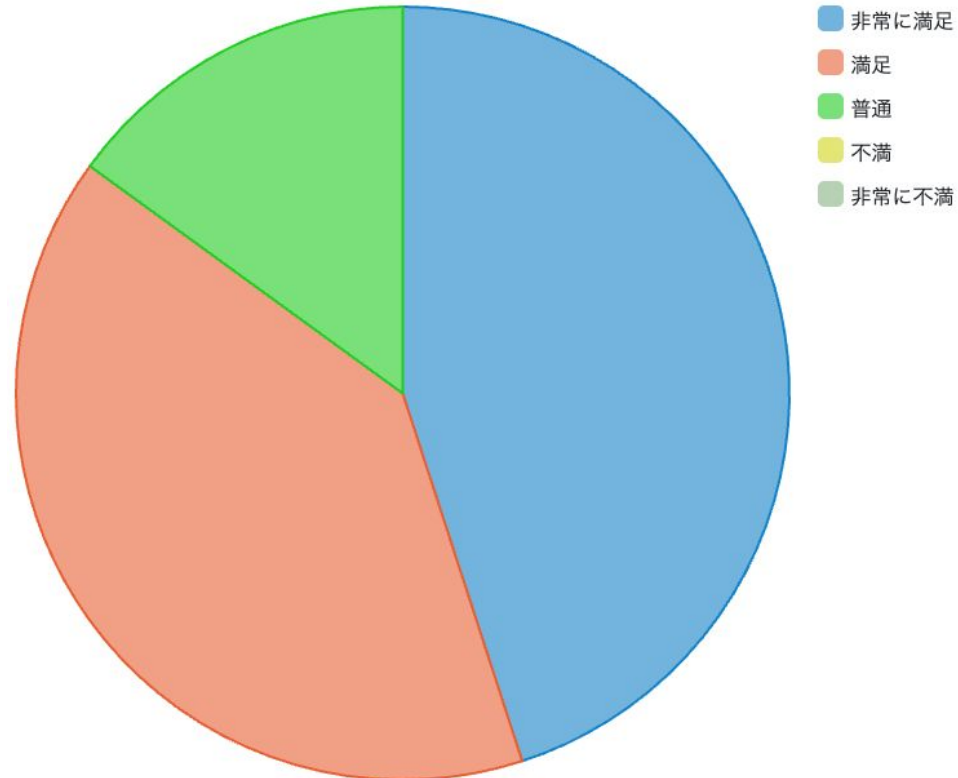


JANOG 58
MEETING IN MATSUYAMA



そのトラフィックは誰のため？ 生成AIがもたらす「AI-to-AI」通信時代のNWデザインの満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	9	45.00%
満足 (A002)	8	40.00%
普通 (A003)	3	15.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	20	100.00%



感想/意見

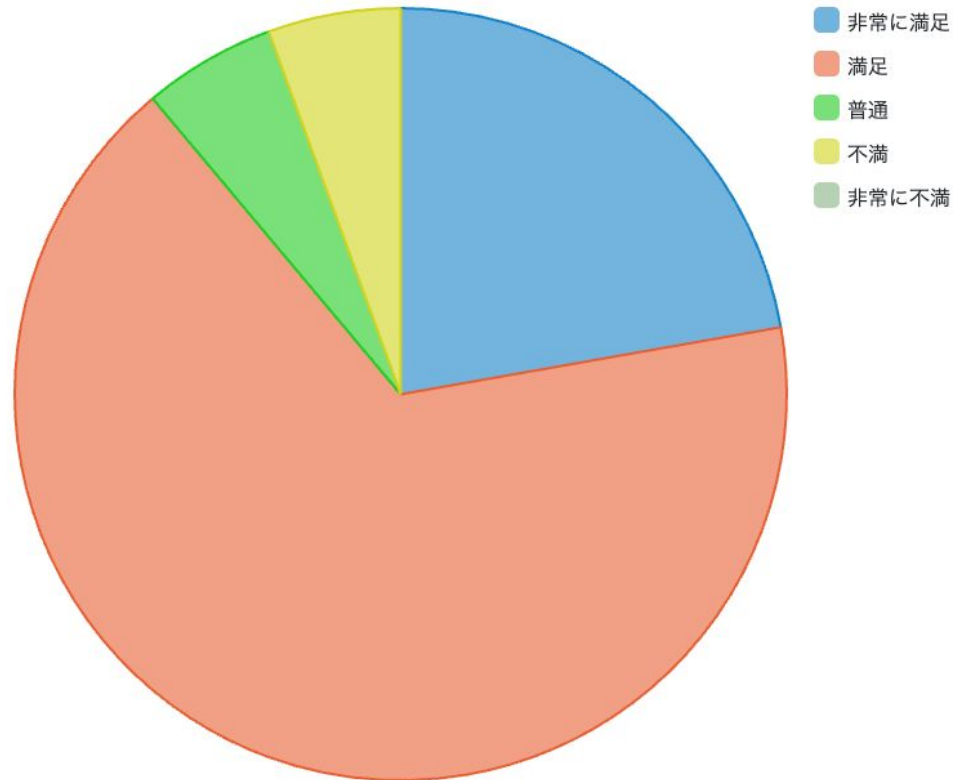
- 人口×可処分時間×視覚聴覚の帯域準備と言った発想は新鮮でした。一方、IoTやフィジカルAIが人間と同じような振る舞いをするラストワンマイルの帯域はもっと必要になるのでは？と感じました。
- 人間の処理能力のボトルネックのあたりはなるほど
- DC側ネットワークがどうなるか、Infinibandが広域化されるのか、そんなことを考えながら聞いてました。
- ずっと気になっていたことをわかりやすく説明していただきました。ありがとうございました。
- 有用な情報を共有いただき、とても参考になりました。ありがとうございました。





爆発するMACアドレスとの戦い EVPN VESPA/仮想イーサネットセグメントとProxy ARPの活用 の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	4	22.22%
満足 (A002)	12	66.67%
普通 (A003)	1	5.56%
不満 (A004)	1	5.56%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	18	100.00%



感想/意見

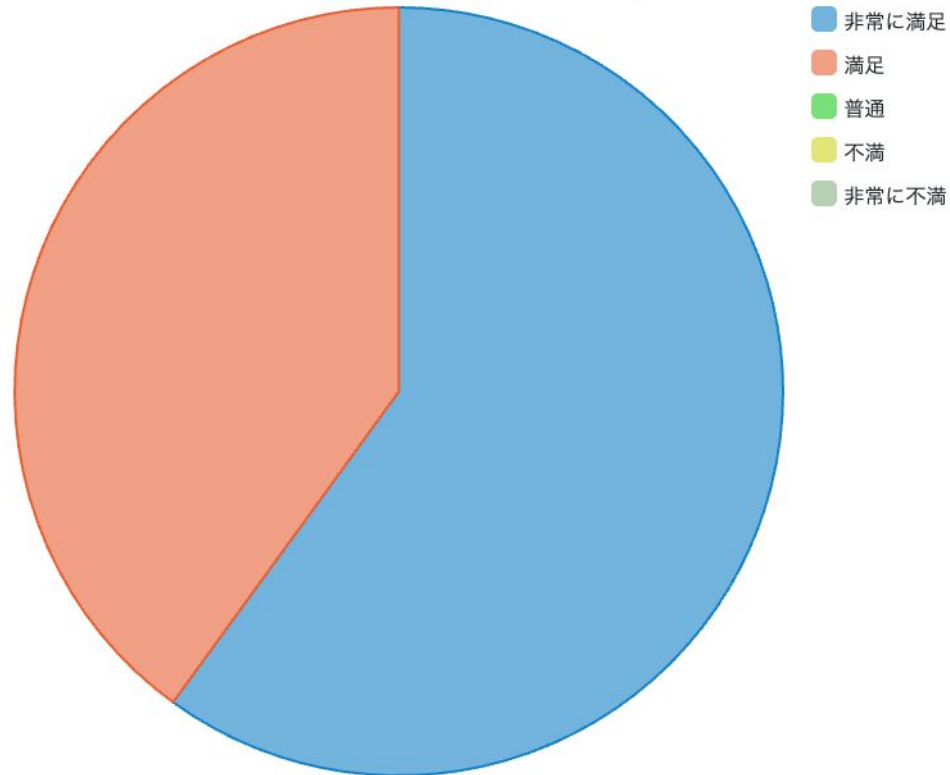
- L2はやはりハマることが多いというのが、実際のデータセンタネットワーク運用してても思いました。L2デバイスから(いつか)L3化されていくと改めて思ったりしました。ハードル激高と思いますが。
- L3で無線環境を構築する技術について色々な情報があり興味深かった
- こういう場所でもEVPNなのが勉強になった
- とある無線環境整備案件においてもMACアドレスの枯渇は話題にならなかった記憶があります。
- VESPAについて知見が得ることができてよかった。
- IPv6対応に期待
- VESPA、面白いと思いました。
- 技術についての説明のパートで、技術のモチベーションが伝わらず、そこから何を目的としたどのような技術なのかが伝わらなかった





モバイル運用における生成AIの現場実践 ～基地局保守・コア保全から事故統制まで～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	9	60.00%
満足 (AO02)	6	40.00%
普通 (AO03)	0	0.00%
不満 (AO04)	0	0.00%
非常に不満 (AO05)	0	0.00%
合計(総合)	15	100.00%



感想/意見

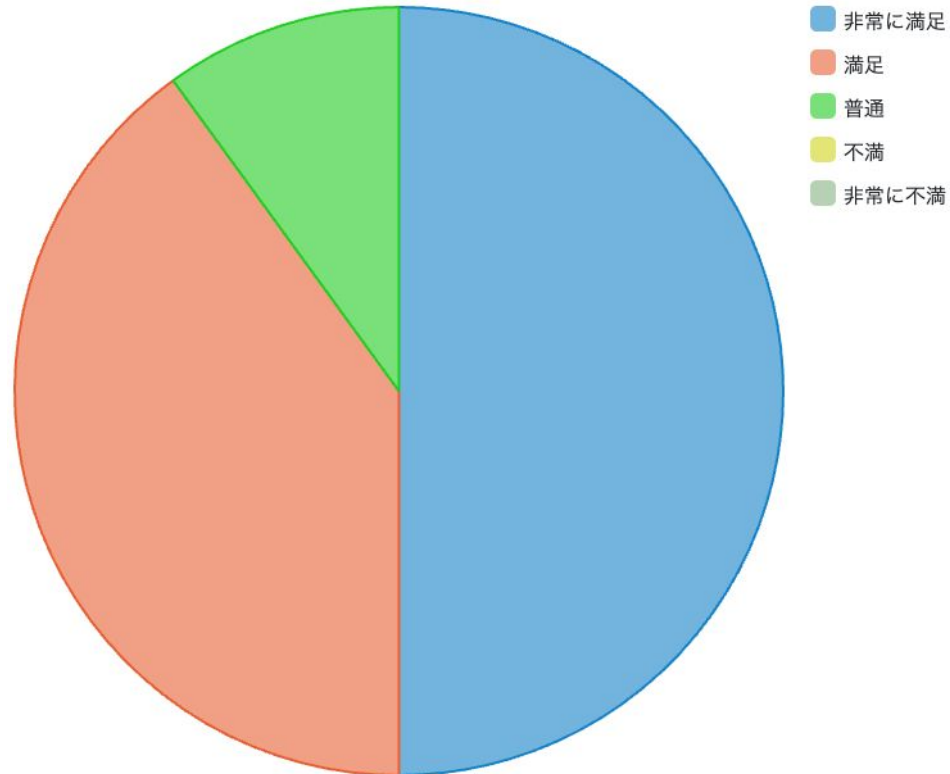
- わかりやすい説明で大変理解しやすかった。
- これからAI活用を検討したいと考えていましたので、実際の現場で実践されている内容を聞けて勉強になりました。初めて聞く技術ワードも多かったので、勉強したいと思います。
- 最初の生成AIのギャップのスライドから「そうだね」との納得から始まり、多くの事例、参考になりました。当社でも実現できないか、検討していきたいと思いました。過去のJANOGから、貴社の発表はとても興味深いものばかりです。次回も楽しみにしています。
- 会議の部分で音声でAIを活用して、テレカンをなしにしたいという発想はソフトバンクさんならではの発想だと思います。実際に音声だけだと、トラフィックデータとか完了率等の情報を誰かが会話で話をしないといけない部分もあり課題も多いと思いました。また、今後の結果について、このような場で共有いただければと思いました。
- 生成AIであるが故のサービス提供の難しさと、制約について考えさせられる内容だった。





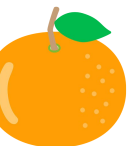
ネットワーク OSの運用ライフサイクルを考える - AIを活用したネットワーク OS選定の省力化 の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	5	50.00%
満足 (AO02)	4	40.00%
普通 (AO03)	1	10.00%
不満 (AO04)	0	0.00%
非常に不満 (AO05)	0	0.00%
合計(総合)	10	100.00%



感想/意見

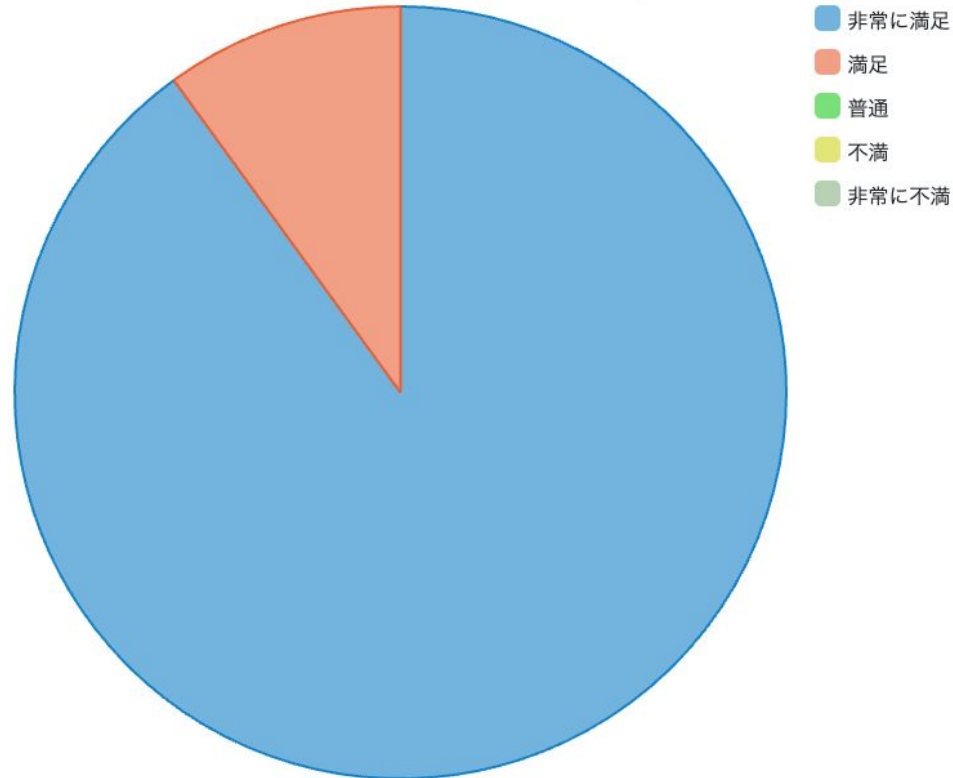
- 2ヶ月の検証期間が4日になるとは、おどろきました。
- 聞きたかった内容だった会場のみなさんも同じ悩み、課題感を共有してるのだなと思った
- 試験の中でもAI活用をログ解析とレポート作成に特化させたという点、非常に参考になりました！





景観保護のための空間光通信(FSO)活用事例 ～松山城周辺の観光を支える次世代インフラ～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	18	90.00%
満足 (A002)	2	10.00%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	20	100.00%



感想/意見

- FSOという新たな技術を知れてよかった
- ご当地のお話が聴けて良かったです。松山に来た甲斐がありました。飛び回る鳥さん達など、現場の状況について、画像や動画で説明されていたのも良かったです。ありがとうございました。
- FSOという選択肢を知ることができてよかった
- いろいろな技術があると驚きました。
- FSOの課題、弱点もご説明いただき、わかりやすかったです。使い勝手が気になっていたので大変参考になりました。
- 設置調整の話や実運用データを提示されており非常に参考になりました。まだ一年経っていないとのことでしたので、また将来、今後の長期運用後の評価やメンテナンス状況などの発表があることに期待します。
- 地元で馴染みのある松山城についてFSOという面白い取り組みを共有いただいてとても興味深かった。無線は専門ではないがそれでもとても面白かった

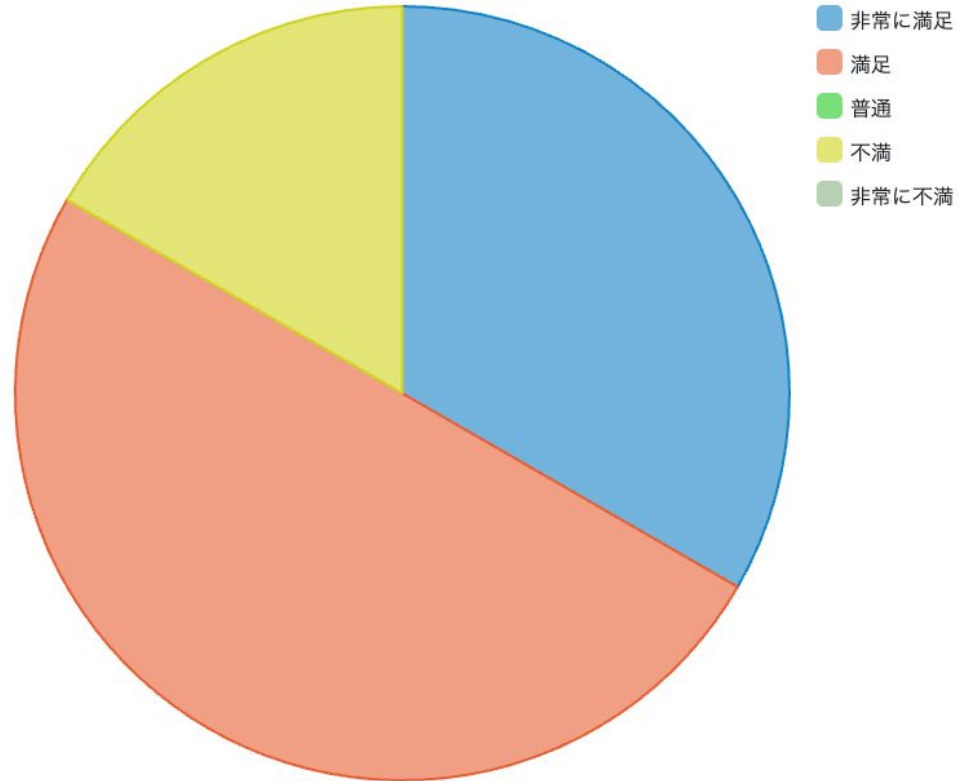




ベテランエンジニアの「勘」は LLMに移植できるのか RAGで再現できるもの・できないもの

ベテランエンジニアの「勘」はLLMに移植できるのか RAGで再現できるもの・できないもの の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	2	33.33%
満足 (A002)	3	50.00%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	1	16.67%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	6	100.00%



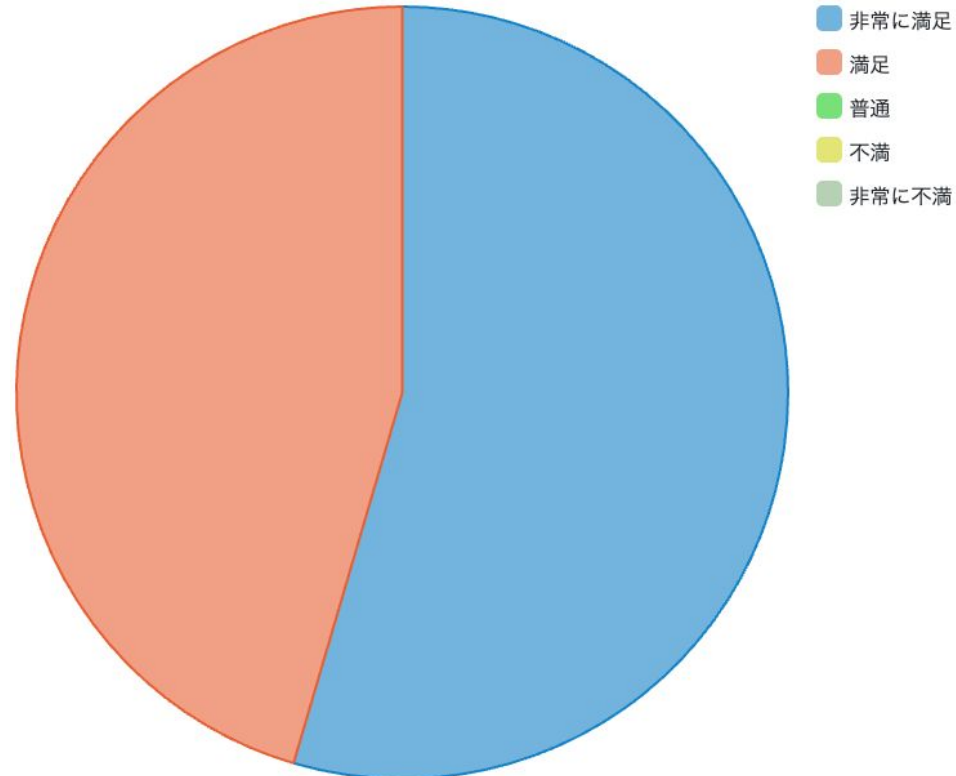
感想/意見

- プログラムありがとうございました。スライドも簡潔で見やすく、頭の中を整理しながら拝聴することができました。
- 「型」に関する話が興味深かったです
- タイトルに対しての結論、知見が弱いように感じます。もう少し具体的に移植することにフォーカスしていただけるといいと思いました。ただ、このような場において知見をご共有くださったことには大変感謝しております。



RPKIキャッシュサーバの課題と提案 -RPKIの信頼性を高めるために- の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	6	54.55%
満足 (A002)	5	45.45%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	11	100.00%



感想/意見

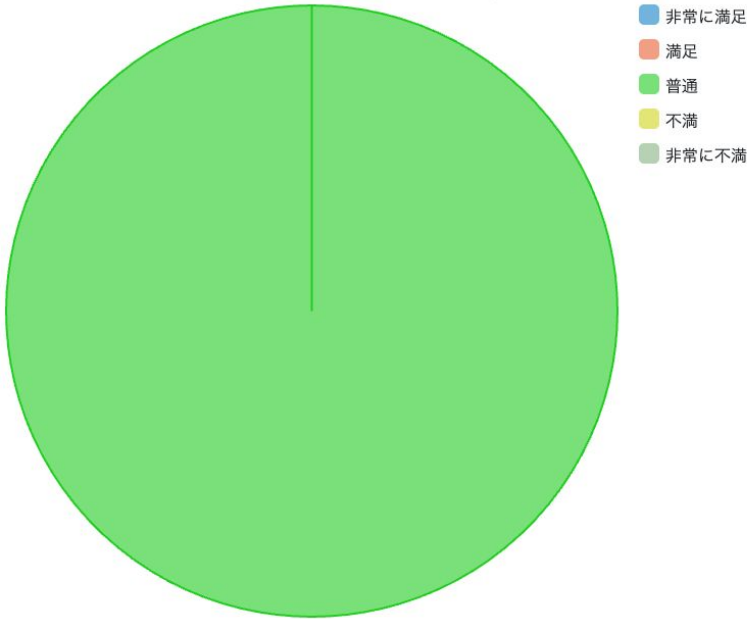
- NotFoundを破棄できる未来は来ないと思ってます。
- ROV の運用について真剣に考えられていることがよくわかりました。さらなる進展を楽しみにしています！





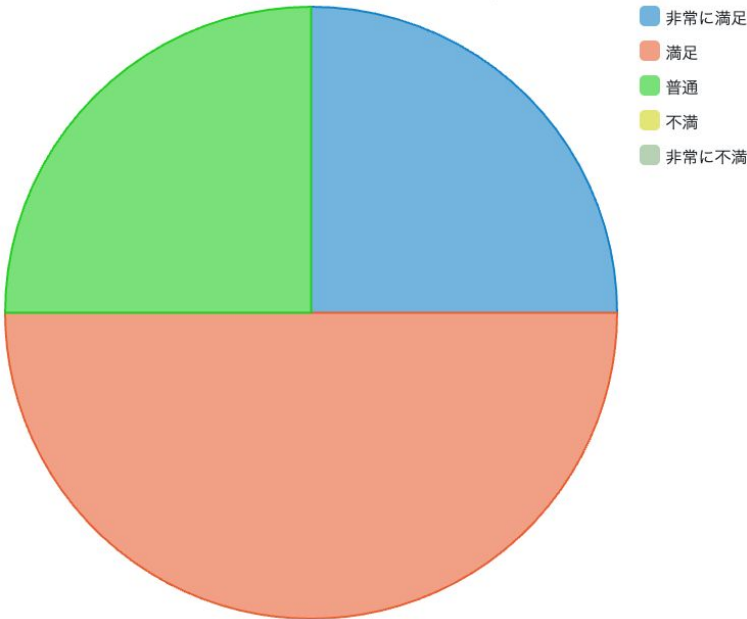
LT1: Agentic AIを活用したGitOpsベースの5GCデプロイメント

各LTの満足度			
回答		件数	総%
	非常に満足 (L001)	0	0.00%
	満足 (L002)	0	0.00%
	普通 (L003)	2	100.00%
	不満 (L004)	0	0.00%
	非常に不満 (L005)	0	0.00%
	合計(総合)	2	100.00%



LT2: XDPerf: High-Performance Network Traffic Generator

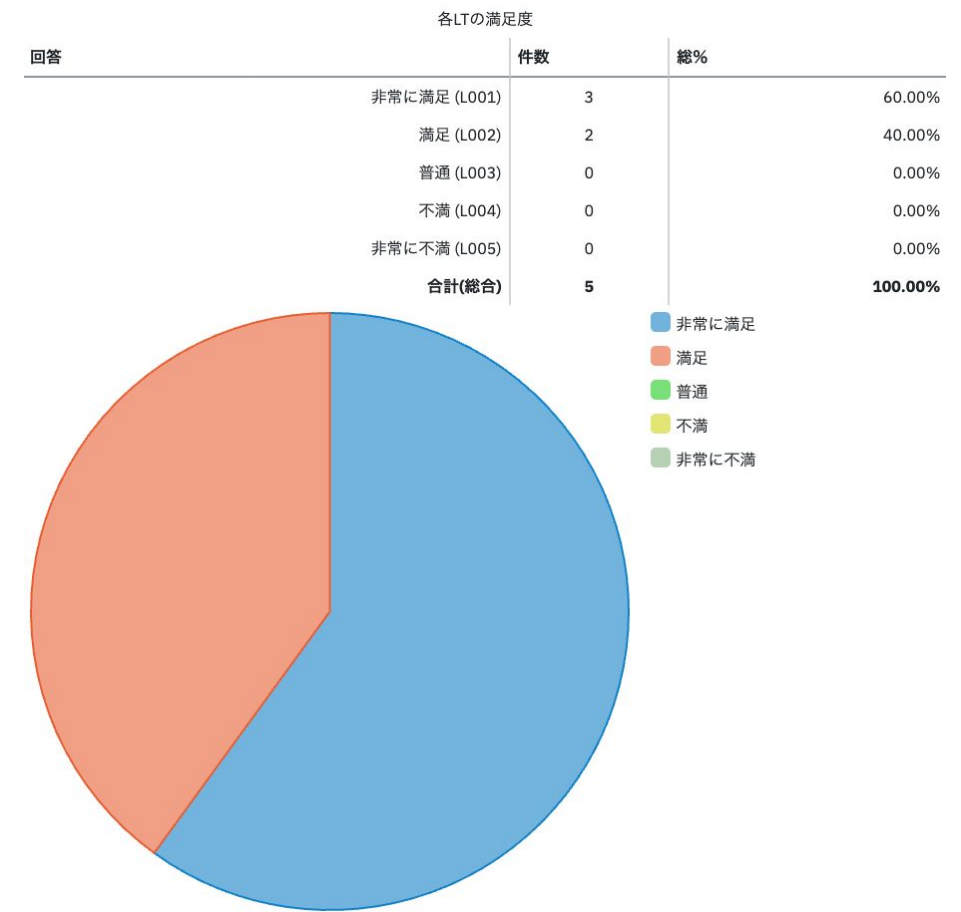
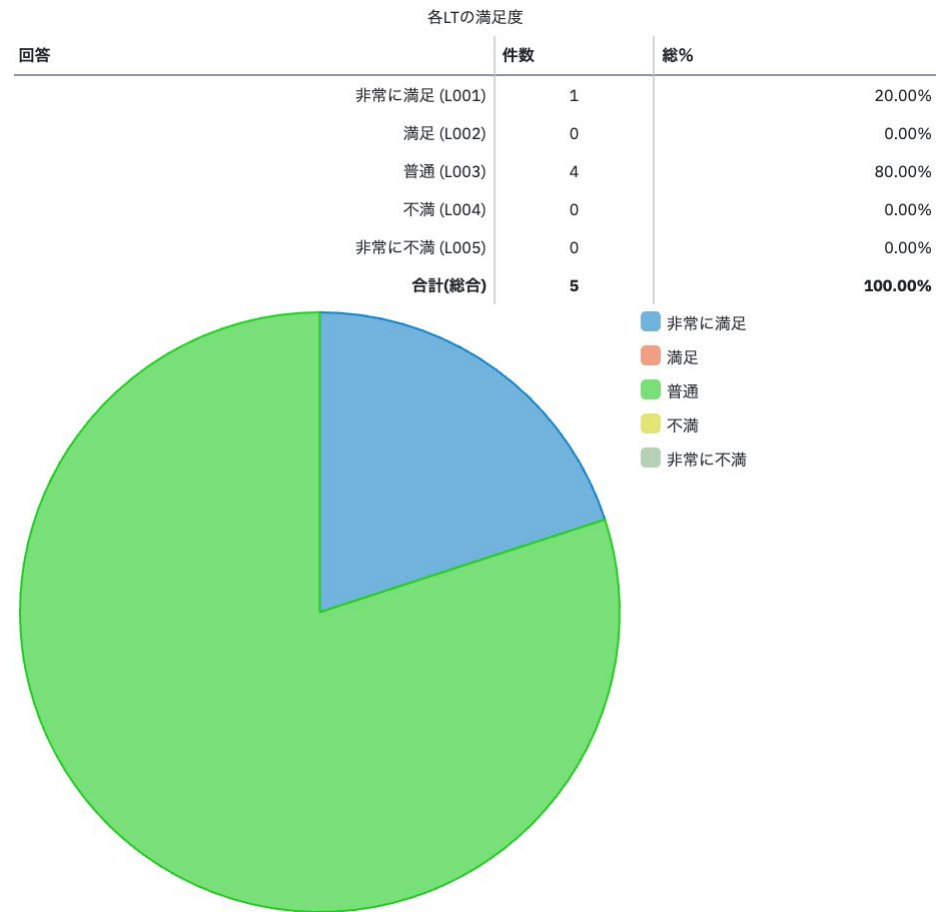
各LTの満足度			
回答		件数	総%
	非常に満足 (L001)	1	25.00%
	満足 (L002)	2	50.00%
	普通 (L003)	1	25.00%
	不満 (L004)	0	0.00%
	非常に不満 (L005)	0	0.00%
	合計(総合)	4	100.00%





LT3: キャリア網は分散 AI推論基盤になれるのか? ~ 5G x IOWN APN x 分散GPUを使ったAI Grid実証でみえたこと~

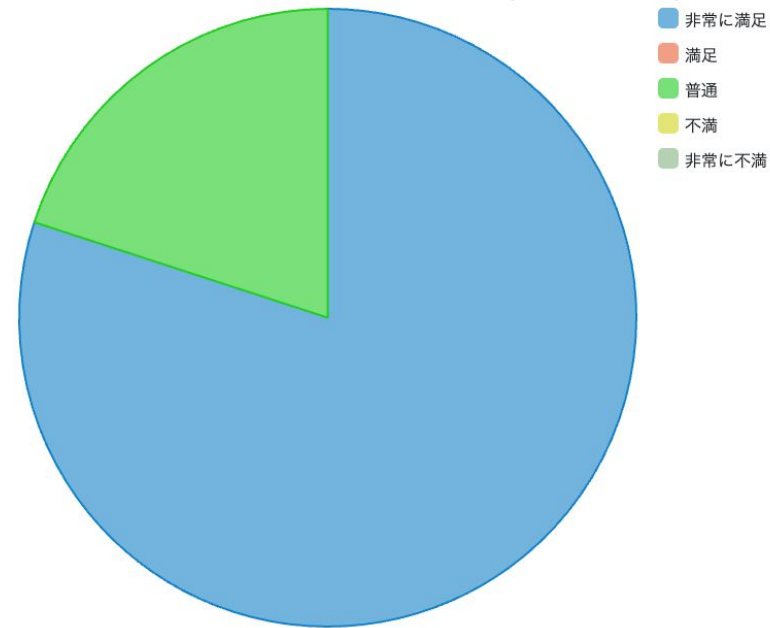
LT4: 内部網でacme対応CA発行のサーバ証明書を使う





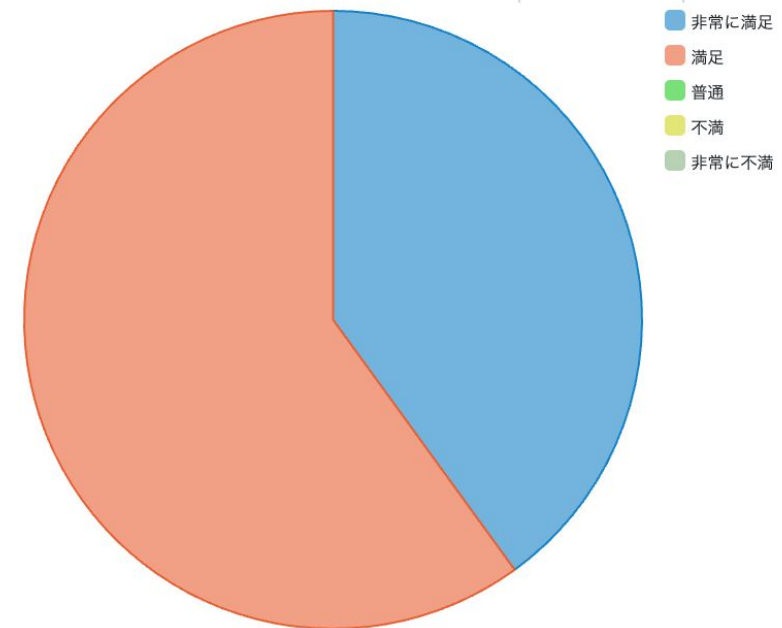
LT5: ひとつの RFC がプライベートクラウドの仮想ネットワークを 3 倍速くした話

各 LT の満足度			
回答	件数	総%	
非常に満足 (L001)	4	80.00%	
満足 (L002)	0	0.00%	
普通 (L003)	1	20.00%	
不満 (L004)	0	0.00%	
非常に不満 (L005)	0	0.00%	
合計(総合)	5	100.00%	



LT6: 逸般の誤家庭にぜひ！～自作モバイルシステムのすすめ～

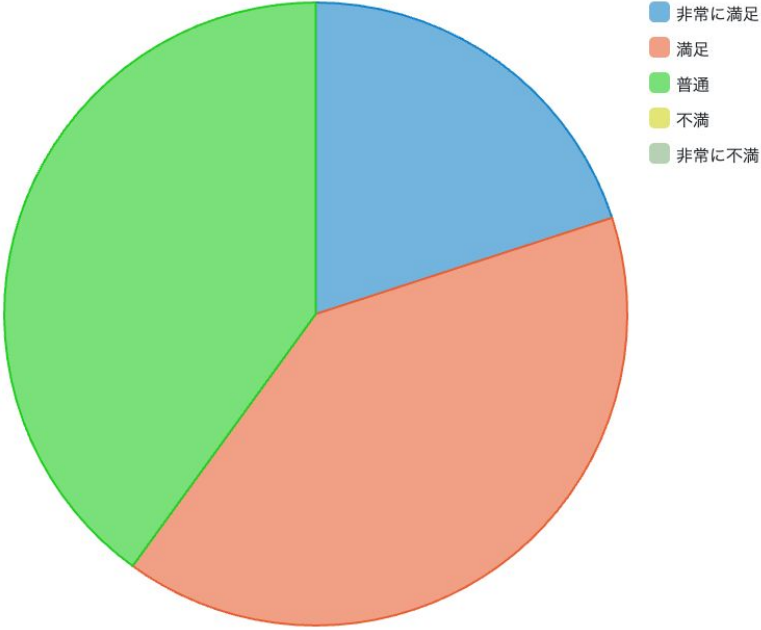
各 LT の満足度			
回答	件数	総%	
非常に満足 (L001)	2	40.00%	
満足 (L002)	3	60.00%	
普通 (L003)	0	0.00%	
不満 (L004)	0	0.00%	
非常に不満 (L005)	0	0.00%	
合計(総合)	5	100.00%	





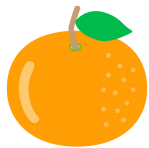
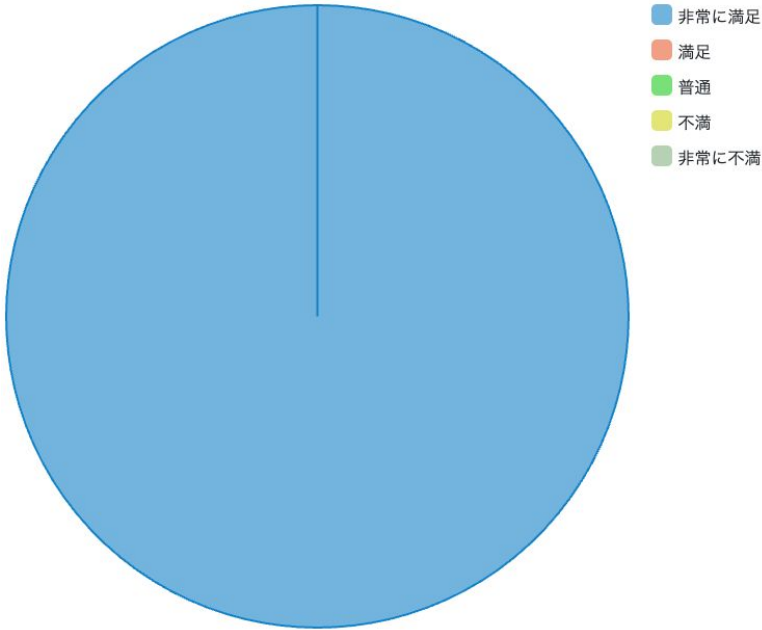
LT7: レガシーアプリケーションで監視をモダナイズ - 監視の抜本改革と Observability 向上・AIOpsへの挑戦 -

各LTの満足度			
回答		件数	総%
	非常に満足 (L001)	1	20.00%
	満足 (L002)	2	40.00%
	普通 (L003)	2	40.00%
	不満 (L004)	0	0.00%
	非常に不満 (L005)	0	0.00%
	合計(総合)	5	100.00%



LT8: モバイル通信の UX改善 ~NWとAppの相互理解に向けて~

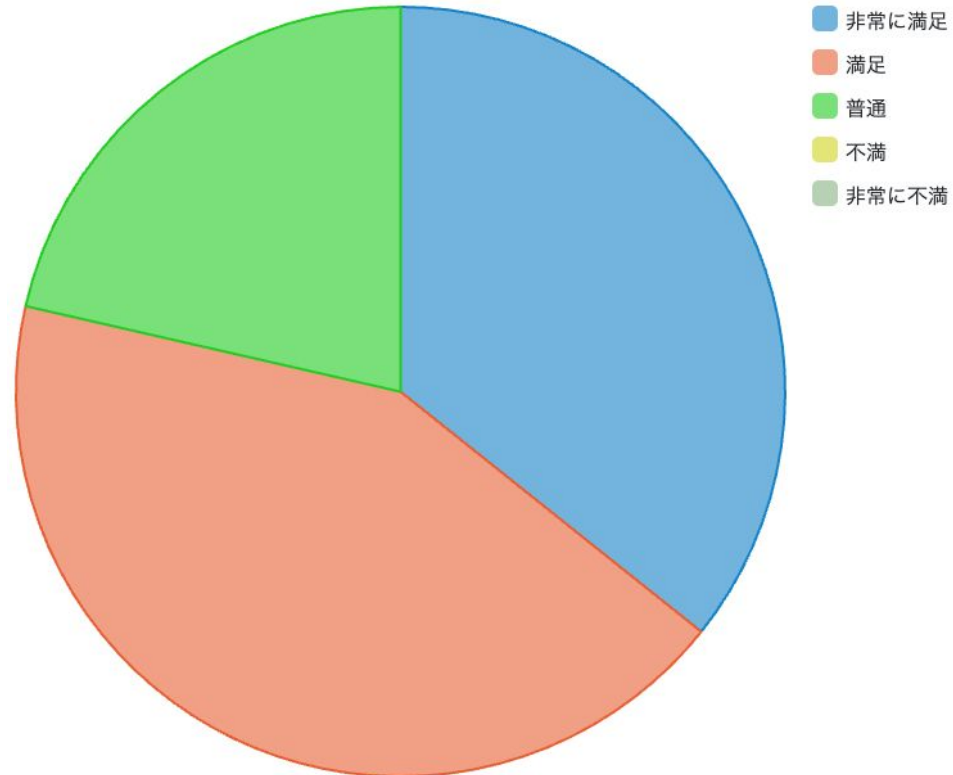
各LTの満足度			
回答		件数	総%
	非常に満足 (L001)	5	100.00%
	満足 (L002)	0	0.00%
	普通 (L003)	0	0.00%
	不満 (L004)	0	0.00%
	非常に不満 (L005)	0	0.00%
	合計(総合)	5	100.00%





運用者自らどこまで自動化できるのか？ ～ゼロタッチ運用の実践と継承課題～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	5	35.71%
満足 (A002)	6	42.86%
普通 (A003)	3	21.43%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	14	100.00%



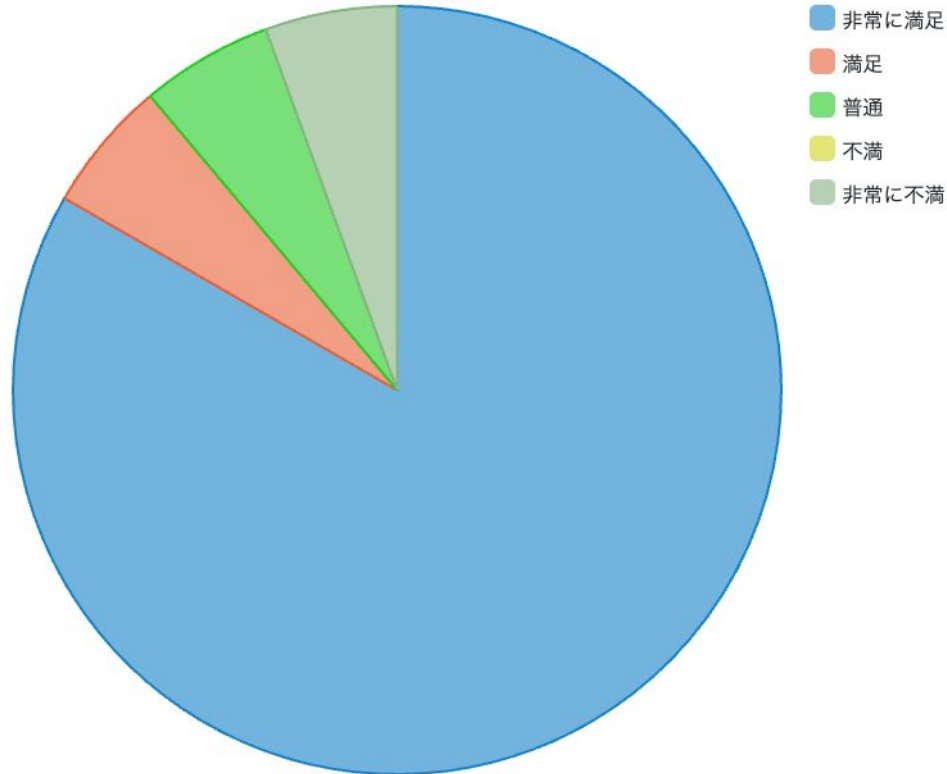
感想/意見

- 似た取り組みをしており、オフレコなのが残念に感じましたが、会社ごとの事情もあって判断されたと思います



2026 WORLD BASEBALL CLASSIC™ ～侍JAPANとJANOG侍の戦い～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	15	83.33%
満足 (A002)	1	5.56%
普通 (A003)	1	5.56%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	1	5.56%
合計(総合)	18	100.00%



感想/意見

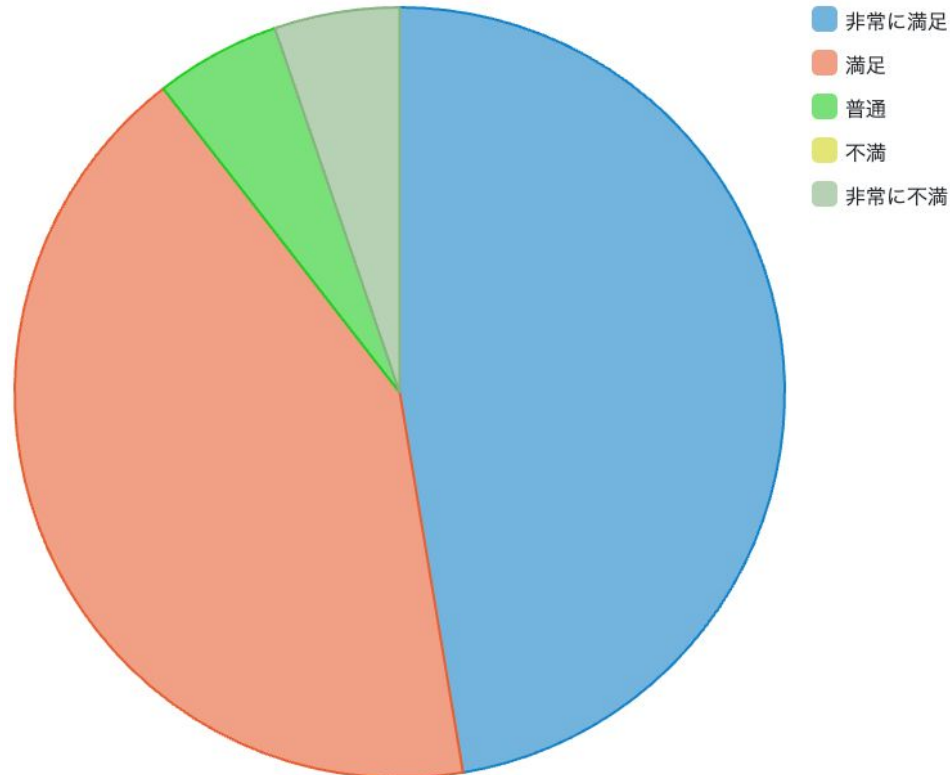
- JANOGならではのプログラムで大変良かったです。
- 発表者が複数いる中で、自己紹介は最初にまとめて欲しい。発表者が変わったタイミングで途中に自己紹介が入ると話の流れ上、聞きづらい。
- 無難な内容で終わってしまったので、もう少し経営判断や将来の展望へ踏み込んだ内容だと良かったです。
- 事業者間連携の良い所・重要性を再認識した。現場の実態を知ることができて良かった。海外では事業者間でのこういった連携・取り組みがないとのことで、実際にトラフィック爆発が起こることが予定されている際の対応がどうなるのか気になった。
- オフレコだったことありますが、非常に貴重なお話を聞けました。ありがとうございました。
- 日本の事業者に直接感謝のお言葉をいただき、感動しました。準備がたいへんでしたが、報われた気がします。
- 実際大変だったことやうまくいかなかったことが沢山合ったはずなのに全体的に内容が綺麗過ぎました。この内容であればオフレコである必要は無かったのでは？





耐量子計算機暗号への移行準備してますか？ ～2030年台の安全なネットワークに向けて～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	9	47.37%
満足 (AO02)	8	42.11%
普通 (AO03)	1	5.26%
不満 (AO04)	0	0.00%
非常に不満 (AO05)	1	5.26%
合計(総合)	19	100.00%



感想/意見

- 暗号方式がネットワークパケットの最初のシーケンスで出て、大きなウエイト (レスポンス、処理) を占めますが、PMC について、今後、どういう方向に進むのかはウォッチが必要だなと認識させていただきました。ありがとうございました。
- RHEL10へ利用サーバの移行をしているが、PQCへの適切な移行や対応の抜けがないかを確認しなければならないと思っている。
- 調査研究を開始したばかり
- 現状を知ることができてよかったです。今は弊社も情報収集の段階なので、情報を共有していただき助かりました。
- NW側に啓蒙的な意味を込めてR&D部門からJANOGに来ているという取り組み自体がとても素晴らしいと考えました
- この分野は進めなければならないと感じているがまだまだこれから着手といった方が多い内容かなと思いました。前回の内容と大きな差分がなかったので、もう少し新しい内容が入ると良いかなと思いました。
- ネットワークがわからないというご発言があり、内容に確証が得られませんでした。

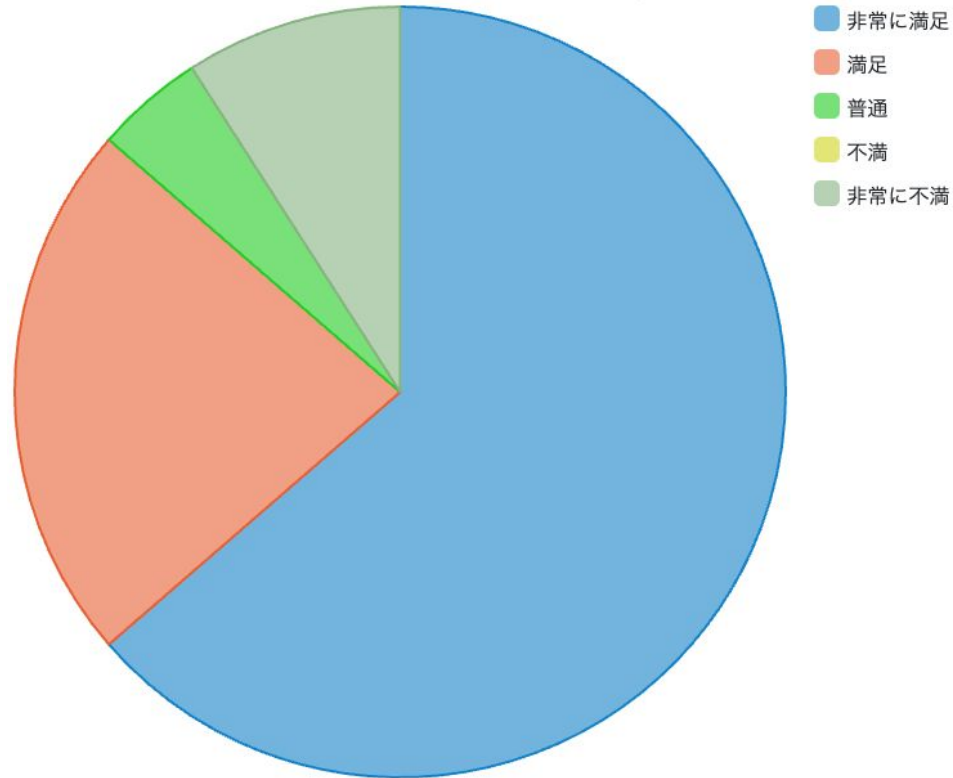




バックボーンをスケールアウトで“運用する”段階へ ～ DDBR商用化までの歩みと、実運用に渡して見えた論点 ～

バックボーンをスケールアウトで“運用する”段階へ ～ DDBR商用化までの歩みと、実運用に渡して見えた論点 ～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	14	63.64%
満足 (A002)	5	22.73%
普通 (A003)	1	4.55%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	2	9.09%
合計(総合)	22	100.00%



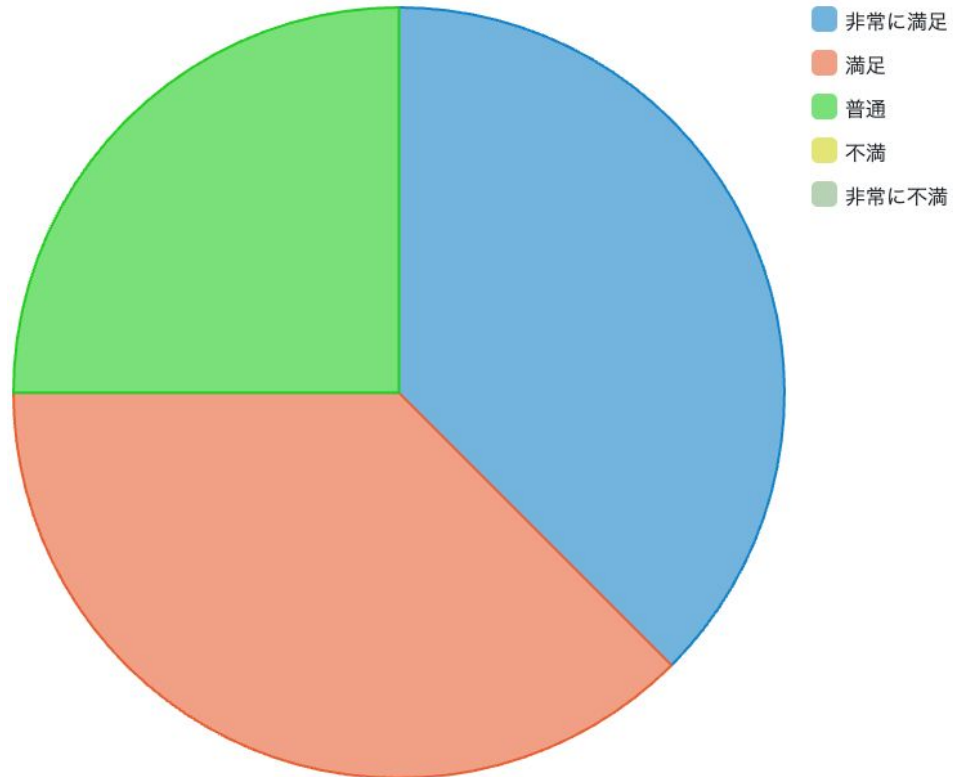
感想/意見

- DDBRを導入されるまでの話、運用に関する話が聞けてよかったです。
- 従来の機材といろいろ考え方が変わるのでそうなのか～というところでいっぱいになってしまって、発展的なことを考えられる状態までいきつけてない感があります
- コアネットワークは、スケールアウトするために、セル化しているというのがものすごく参考になりました。
- DDBRを導入していくまでのステップを分かりやすく紹介いただいて、オープン化、クラスター化を検討する材料をいただくことができました。
- 課題やチャレンジについて議論できる場にして頂きたかったです。
- 議論時の対応が押しの強い印象で、内容も特定ベンダの採用実績を伝えることに重心が置かれており、営業的な色合いが強く感じられた。JANOGerに有益な内容だったか、判断に悩む発表だった。



遠くの国のモバイル回線をどう知るかの満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	3	37.50%
満足 (AO02)	3	37.50%
普通 (AO03)	2	25.00%
不満 (AO04)	0	0.00%
非常に不満 (AO05)	0	0.00%
合計(総合)	8	100.00%



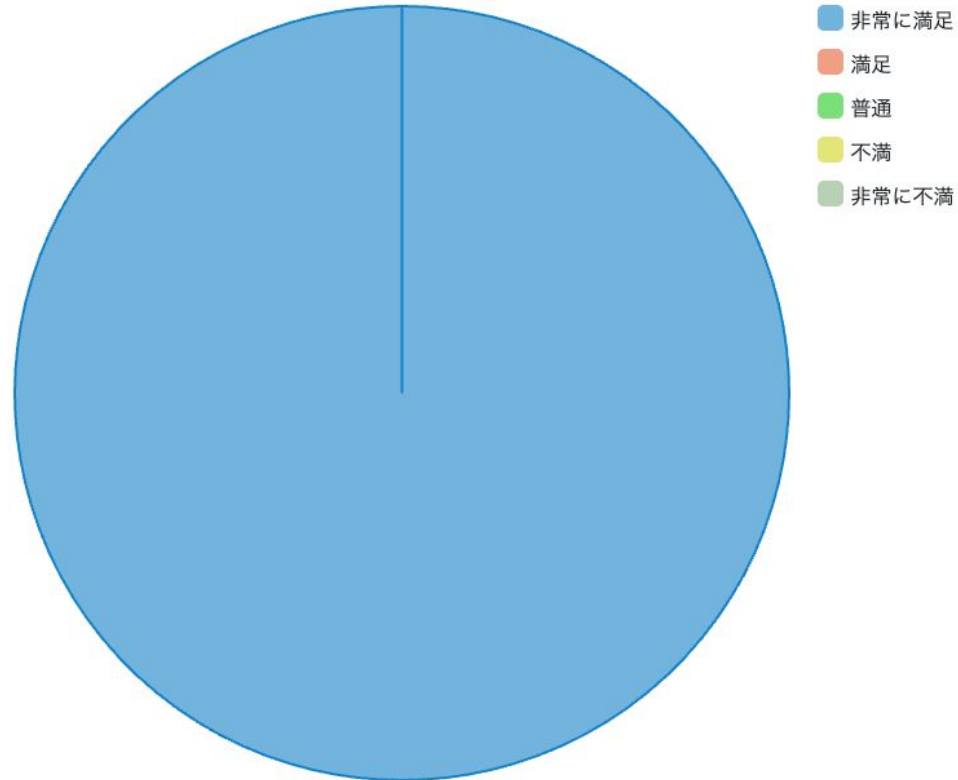
感想/意見

- 知見にないエリアでのサービス展開、戦略を考えるにあたり、動き方として参考になりました。質疑のオープンシグナルデータは有益であるという情報も、参考にしたいと思います。ありがとうございました。



Rack-Scale GPUサーバーのNW設計と運用までの苦悩 の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	5	100.00%
満足 (A002)	0	0.00%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	5	100.00%



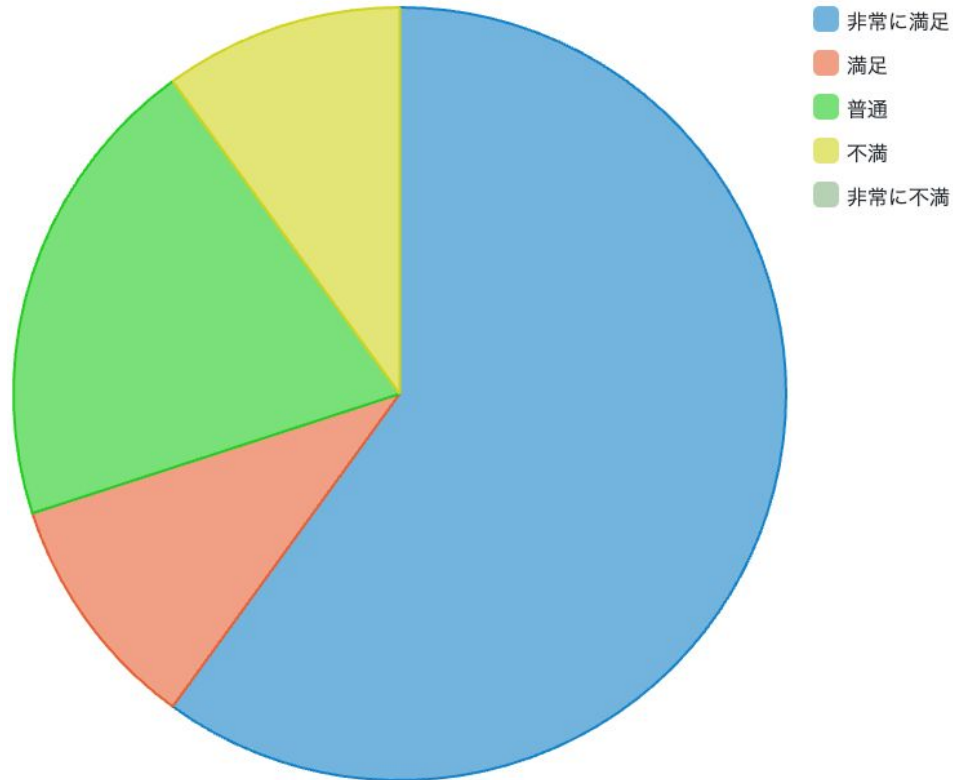
感想/意見

- 実際の運用のナレッジや知見が詰まった内容を発表いただきありがとうございました
- ファシリティレイヤーの重要性がよくわかりました。
- 実際にネットワークを設計から運用までやっている立場での苦労ポイントや知見が盛り込まれていて楽しく聴くことができました。単なる技術解説や自社の事例紹介ではなく、ちゃんと「Why - なぜそうしたのか」が明確なセッションで良かったです。



どうする?どうなる? これからのログ保存 の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	6	60.00%
満足 (A002)	1	10.00%
普通 (A003)	2	20.00%
不満 (A004)	1	10.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	10	100.00%

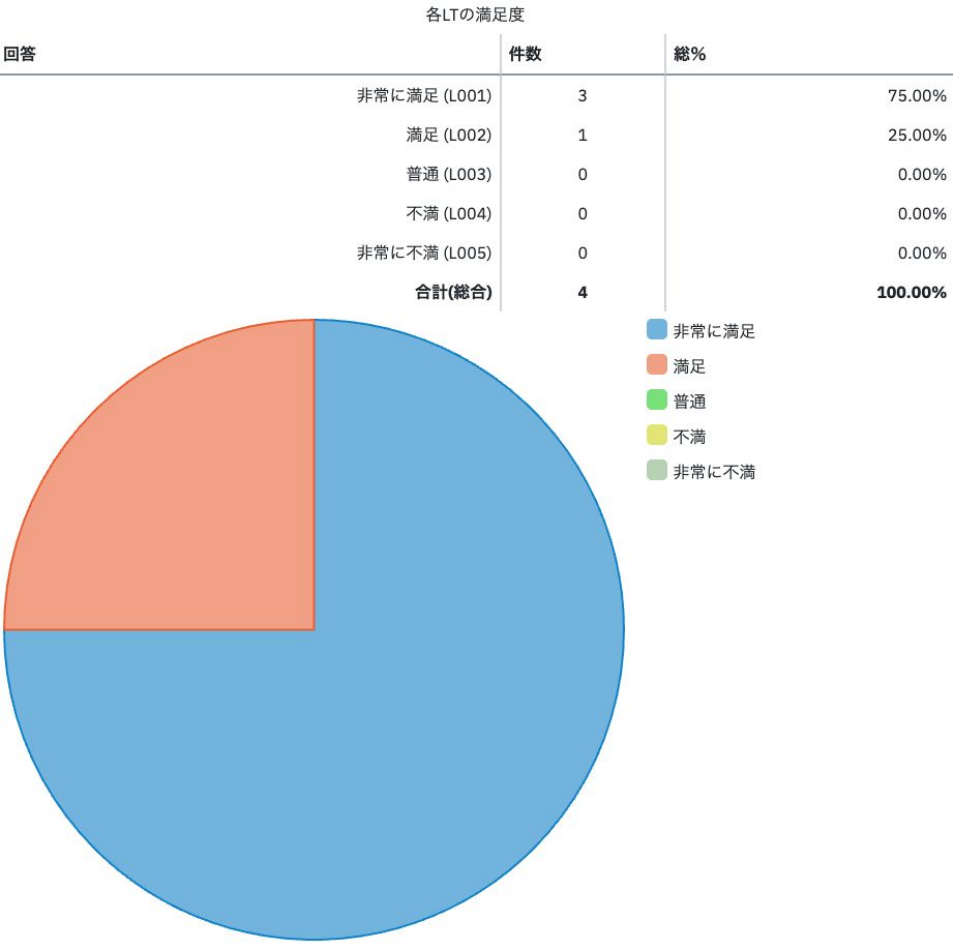


感想/意見

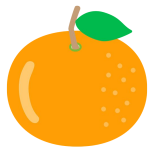
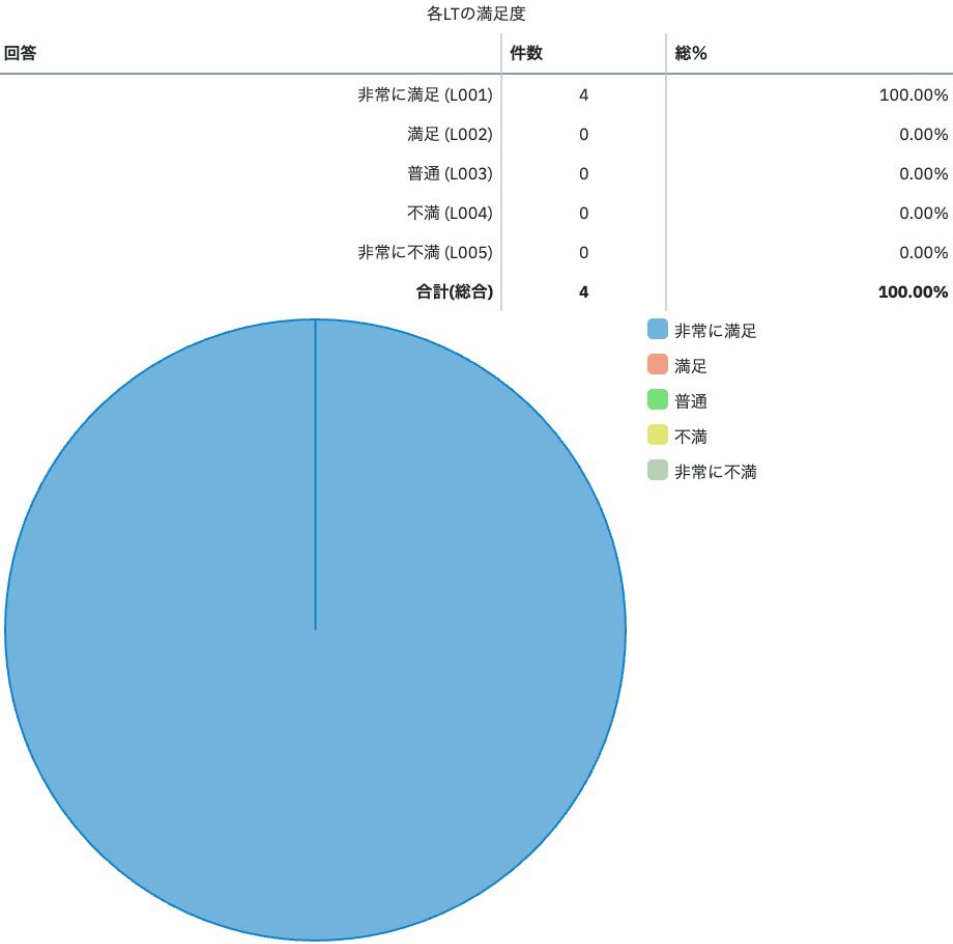
- ・ ザ・オフラインプログラムという感じの「こんなこと話していいの!？」というぶっちゃけ話がポンポン出てきて大変楽しめました
- ・ 法制度的な話とよく事前調査して参加しなかったため良いにしたが、内容はよかった
- ・ 関係各所との議論に現場のエンジニアも参加したいと声をあげようと感じた
- ・ 問題提起だけで解決策がないのが不満に思った



LT1: 初心者視点で整理する DCNWとAINW – 目的から紐解く3つの違い -



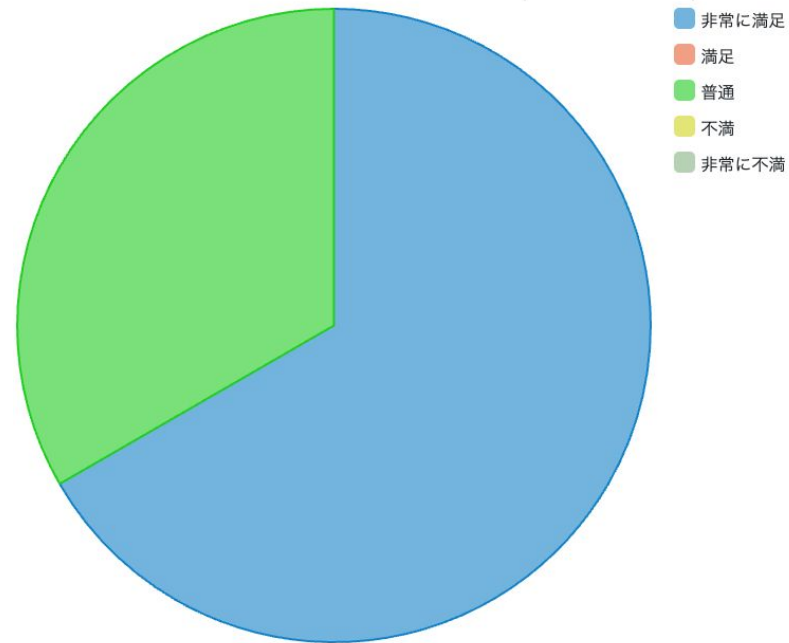
LT2: ShowNet2026での デジタルツインの取り組みと得られた知見





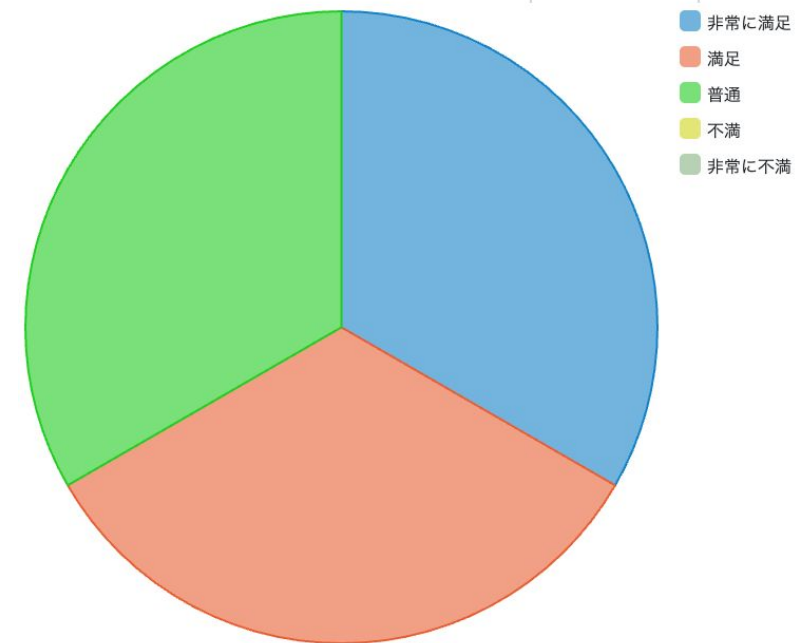
LT3: 「ルーティング技術」で勘違いした事例共有

各LTの満足度			
回答	件数	総%	
非常に満足 (L001)	2	66.67%	
満足 (L002)	0	0.00%	
普通 (L003)	1	33.33%	
不満 (L004)	0	0.00%	
非常に不満 (L005)	0	0.00%	
合計(総合)	3	100.00%	



LT4: RFCをデータで眺めてみた

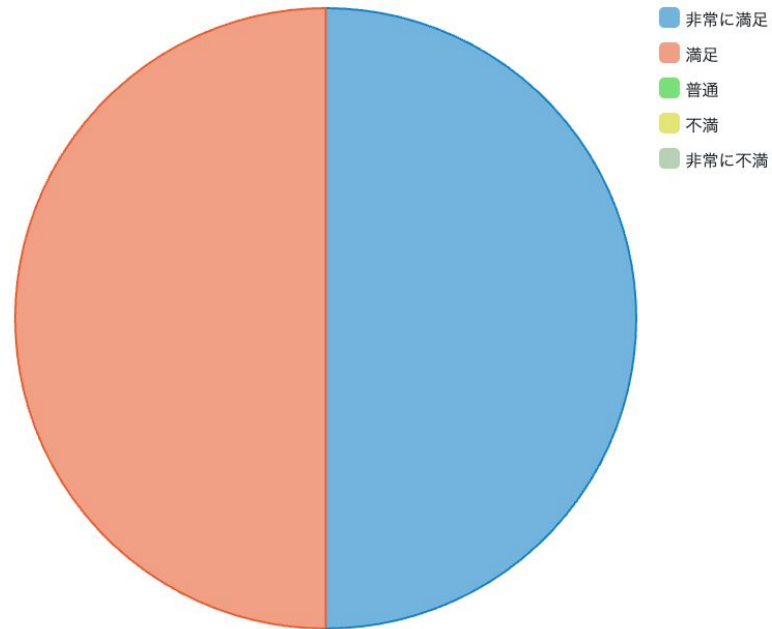
各LTの満足度			
回答	件数	総%	
非常に満足 (L001)	1	33.33%	
満足 (L002)	1	33.33%	
普通 (L003)	1	33.33%	
不満 (L004)	0	0.00%	
非常に不満 (L005)	0	0.00%	
合計(総合)	3	100.00%	





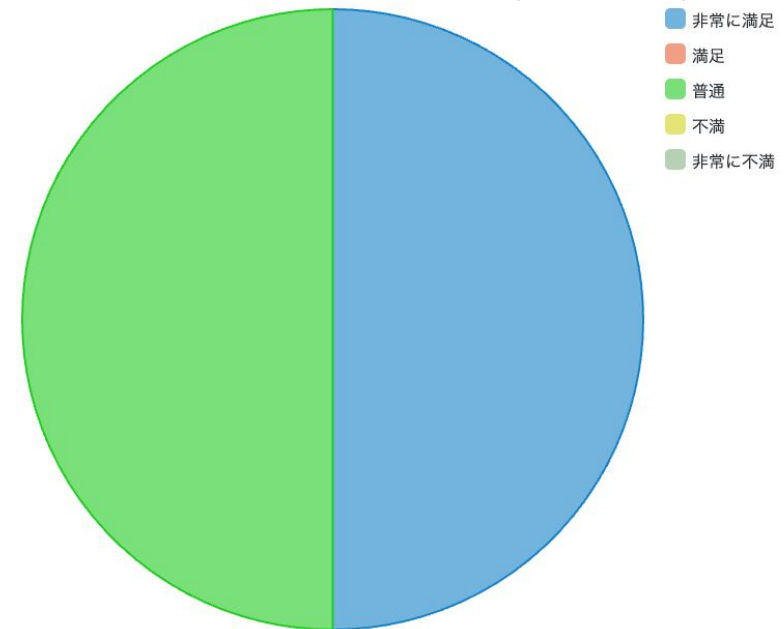
LT5: 専用線系サービスのテクニカルサポート紹介

各LTの満足度			
回答		件数	総%
非常に満足 (L001)		1	50.00%
満足 (L002)		1	50.00%
普通 (L003)		0	0.00%
不満 (L004)		0	0.00%
非常に不満 (L005)		0	0.00%
合計(総合)		2	100.00%



LT6: WireGuardで始めるVPNパケットキャプチャ入門

各LTの満足度			
回答		件数	総%
非常に満足 (L001)		1	50.00%
満足 (L002)		0	0.00%
普通 (L003)		1	50.00%
不満 (L004)		0	0.00%
非常に不満 (L005)		0	0.00%
合計(総合)		2	100.00%

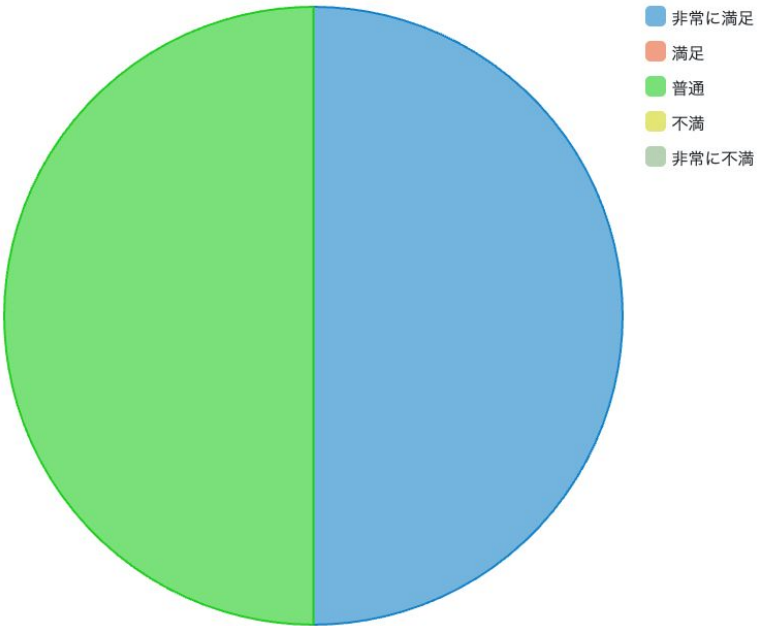




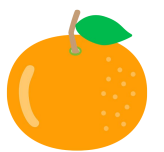
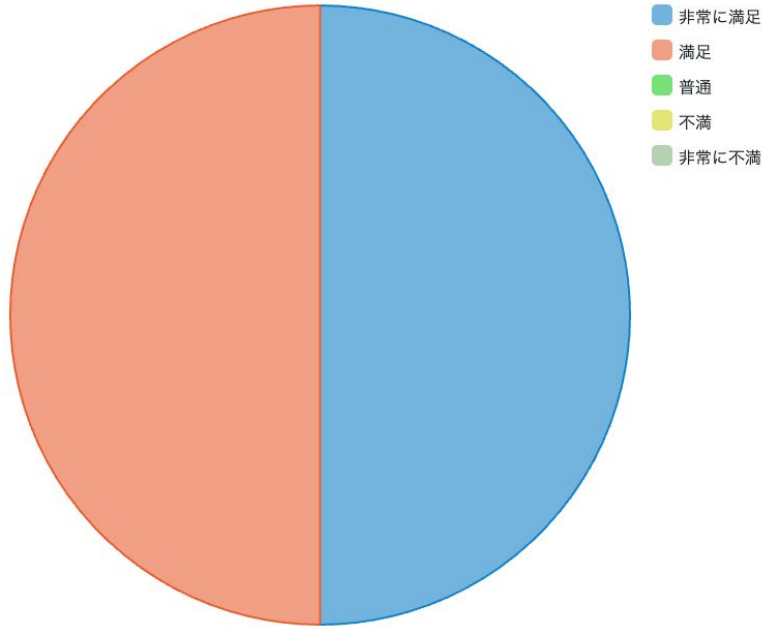
LT7: AWS初心者がハマった 5Gコアのパブクラ適用における経路切替の落とし穴

LT8: V2X通信のポテンシャル評価

各LTの満足度			
回答	件数	総%	
非常に満足 (L001)	1	50.00%	
満足 (L002)	0	0.00%	
普通 (L003)	1	50.00%	
不満 (L004)	0	0.00%	
非常に不満 (L005)	0	0.00%	
合計(総合)	2	100.00%	

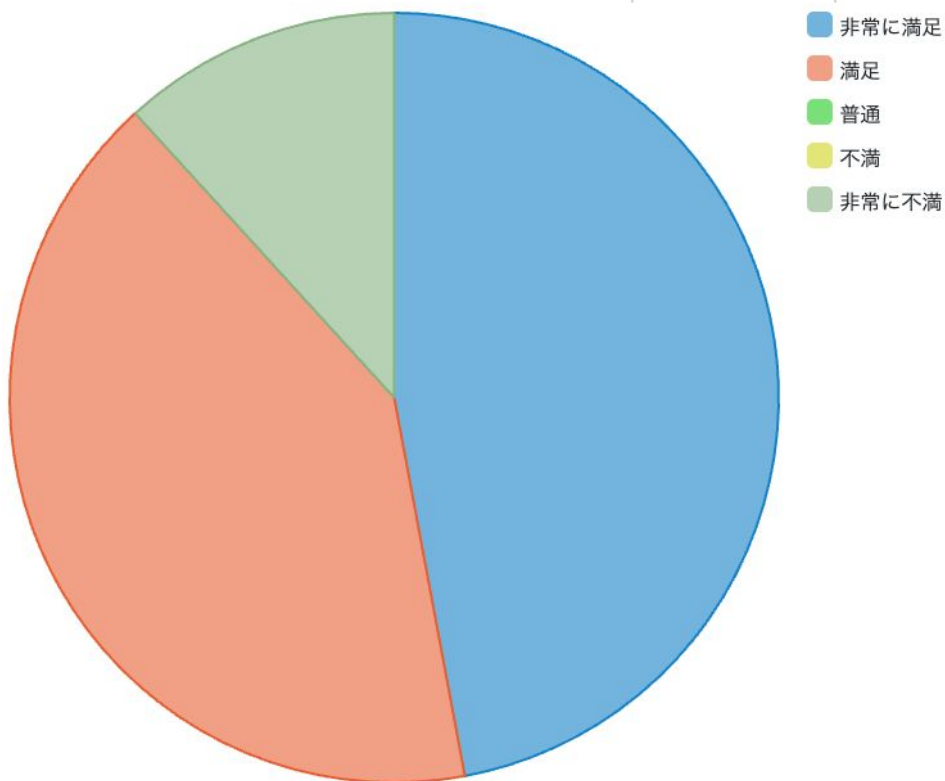


各LTの満足度			
回答	件数	総%	
非常に満足 (L001)	1	50.00%	
満足 (L002)	1	50.00%	
普通 (L003)	0	0.00%	
不満 (L004)	0	0.00%	
非常に不満 (L005)	0	0.00%	
合計(総合)	2	100.00%	



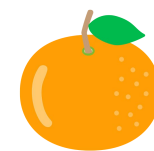
若手エンジニアは何を学ぶ？ ～現在地とこれから～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	8	47.06%
満足 (AO02)	7	41.18%
普通 (AO03)	0	0.00%
不満 (AO04)	0	0.00%
非常に不満 (AO05)	2	11.76%
合計(総合)	17	100.00%



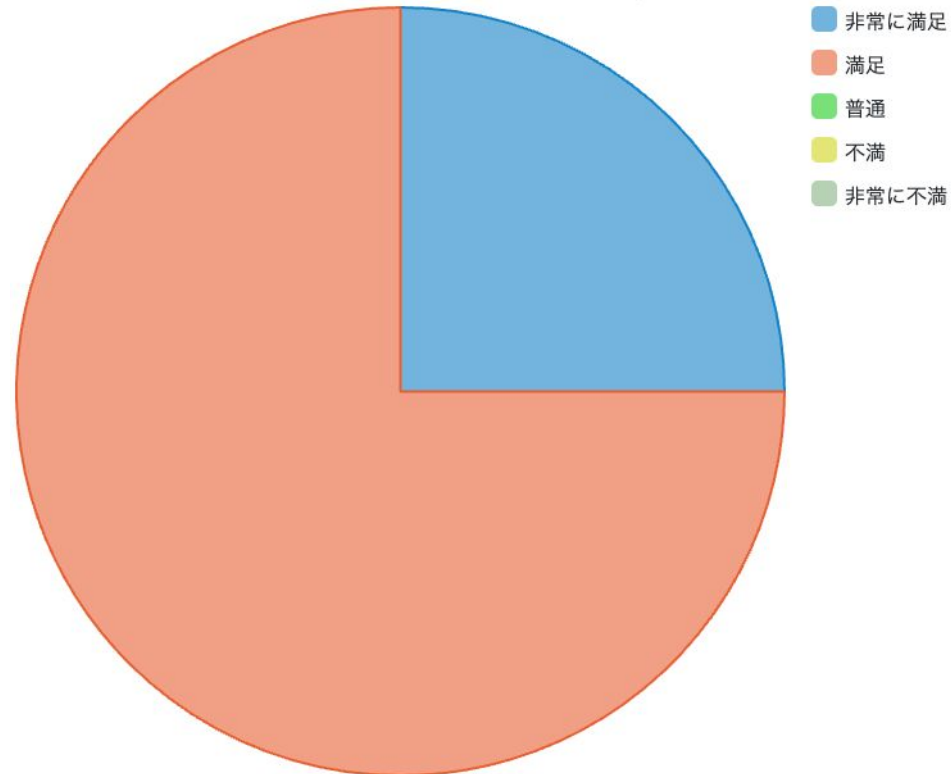
感想/意見

- ・ 若手の意見が聞けて、励みになった
- ・ ネットワークエンジニアの根源にあるコミュニケーションという文化、そしてその文化を尊重するようなAIの活用法というのはとても興味深いテーマだと思った。
- ・ 自身もネットワークの領域を学び出して日が短く分からないことも多いため不安が大きかったが、同じ思いを持った仲間がいて一緒に頑張っていることを知れてよかったです。
- ・ 勉強し始めの人は何の本を読めばいいのかを聞いたのが収穫でした。日々新しくなるインターネット関連の知識で教科書選びに迷っていたので、参考になりました。
- ・ 色んな立場の方のお話を聞けてとても為になりました。皆さんのお話を聞いて、普段私も同じように感じながら仕事をしていることが多く、勝手に仲間意識を持ちながら聞いていました。ありがとうございました。
- ・ 私も学生で今回がJANOG初参加なので同じ学生や若い方達も同じような視点でAIや技術と向き合っていて安心があった
- ・ 現在GNS3でBGPなどの学習をしようと考えて環境構築をしたがコンテナラボというものもあると知れた
- ・ もっと一般的な内容で、これから何を若手エンジニアはすべきなのかというセッションが良かったと思います。
- ・ JANOGが始まる前からこの業界にいる者にとっては皆さんのお話は興味深く聞かせていただきました
- ・ 若手エンジニアについての一般的な話が聞けると思っていたのですが、感想がメインだったため、あまり参考にならなかったです。
- ・ 進行の段取りが非常に悪い
- ・ 経験が浅いことは理解しつつも、事前準備がもう少し充実していると良かったと感じた。技術面のスキルに加えて、社会人としての基礎的な準備力も今後身につけてほしい



JC2を考える の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	1	25.00%
満足 (AO02)	3	75.00%
普通 (AO03)	0	0.00%
不満 (AO04)	0	0.00%
非常に不満 (AO05)	0	0.00%
合計(総合)	4	100.00%



感想/意見

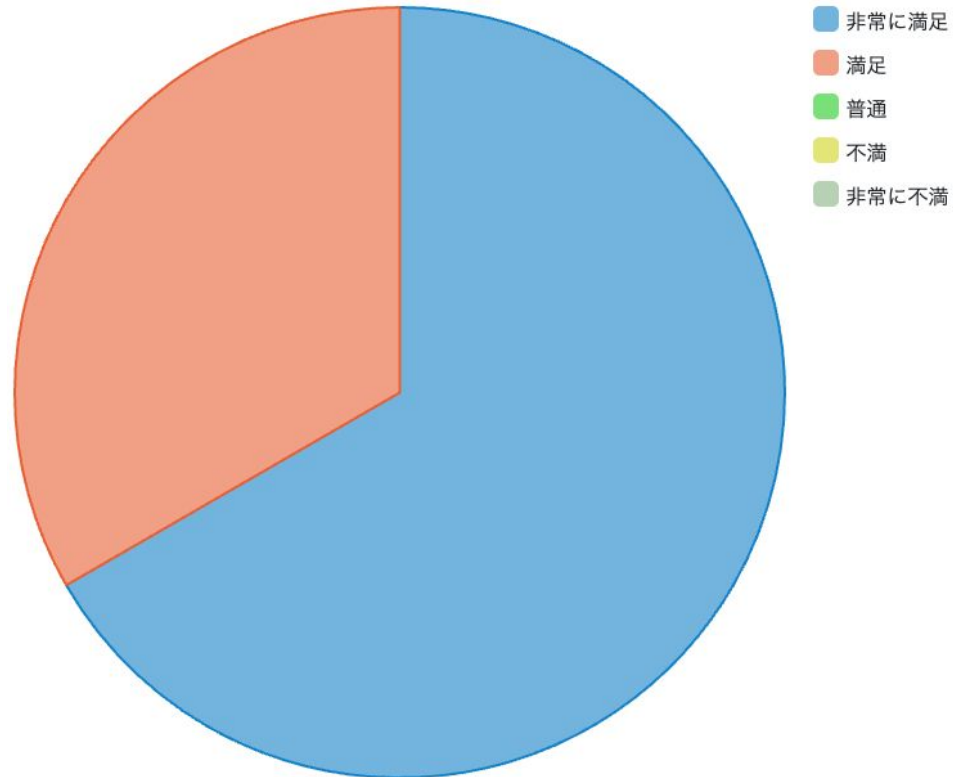
- 皆さんのお考えが本当にピュアで素晴らしかったです。問題意識として、有料サービス(チャットやWikiなど)の継続的な利用ができていくことと、事務局の選択肢が少ない事にあると思うので、運営委員のポリシーを担保しつつ、会計だけ透明性を確保すれば、法人化は問題ないと思いますし、会費も年1万円以下ならなら反対は少ないのではないかと(会員は減るかも、ですが)と思いました。
- JANOGのこれまでとこれからを考える良い時間だったと思います。





WGをやってみよう の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	2	66.67%
満足 (A002)	1	33.33%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	3	100.00%



感想/意見

- 自社、あるいは個人で作業してもWGになりにくいので、他社、他者と共同で作業したい課題があることが前提だと思う。そういう課題がありさえすれば自ずとWGになっていくと思いました。
- 今は、昔ほど、相互接続性に悩むこともないのかなと思います。あとは、最新技術をぶつけたいという思いがどれだけあるかで、WGの必要性が決まるのかなと。あとは、JCの改定でWG化という案もあり、面白いと思いました。



Day3 プログラム

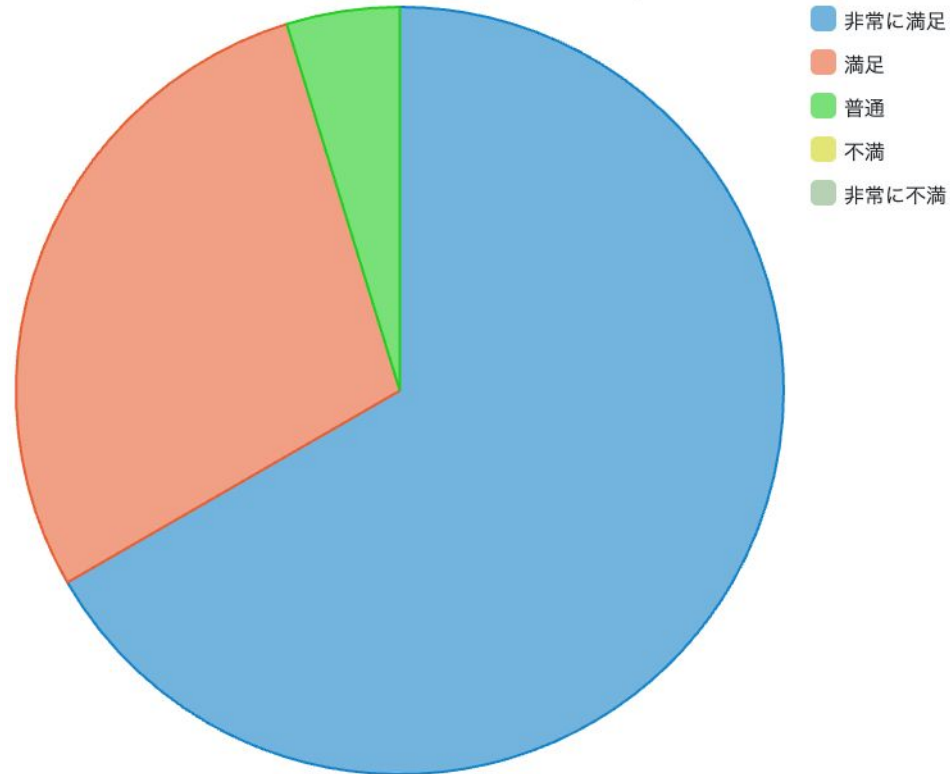


JANOG 58
MEETING IN MATSUYAMA



NOC全体に生成AIを届ける ～閉域商用網で使えるセキュアなAI共通基盤づくり～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	14	66.67%
満足 (AO02)	6	28.57%
普通 (AO03)	1	4.76%
不満 (AO04)	0	0.00%
非常に不満 (AO05)	0	0.00%
合計(総合)	21	100.00%



感想/意見

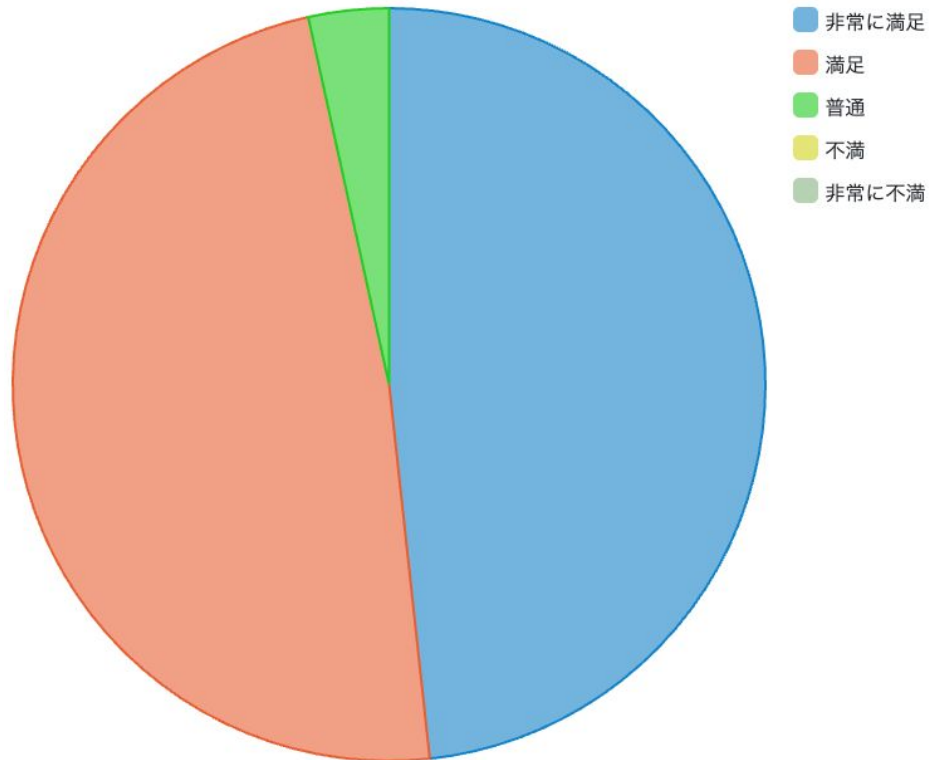
- ・ センシティブな情報の制限について、とても興味深かったです。
- ・ 非常に参考になりました！
- ・ ローカルLLMの導入、挑戦します。
- ・ 資料の見やすさた解説が丁寧で理解しやすかった。
- ・ 運用でAIを使うことの課題感は自分が携わっている分野も同じなので、とても参考になりました。
- ・ 会場とのコミュニケーションもとられていて、素晴らしいセッションでした。
- ・ 自分たちでChat botを作ってらっしゃることに感銘を受けました。
- ・ RAGのメンテは大変そうに思えた
- ・ 業務に役立つ内容でとても参考になった内容でした。





人のための自動化がAIエージェント運用への道を拓く — IOWN APN × VXLAN/EVPNをまたぐマルチレイヤ抽象化の実践 の満足

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	14	48.28%
満足 (A002)	14	48.28%
普通 (A003)	1	3.45%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	29	100.00%



感想/意見

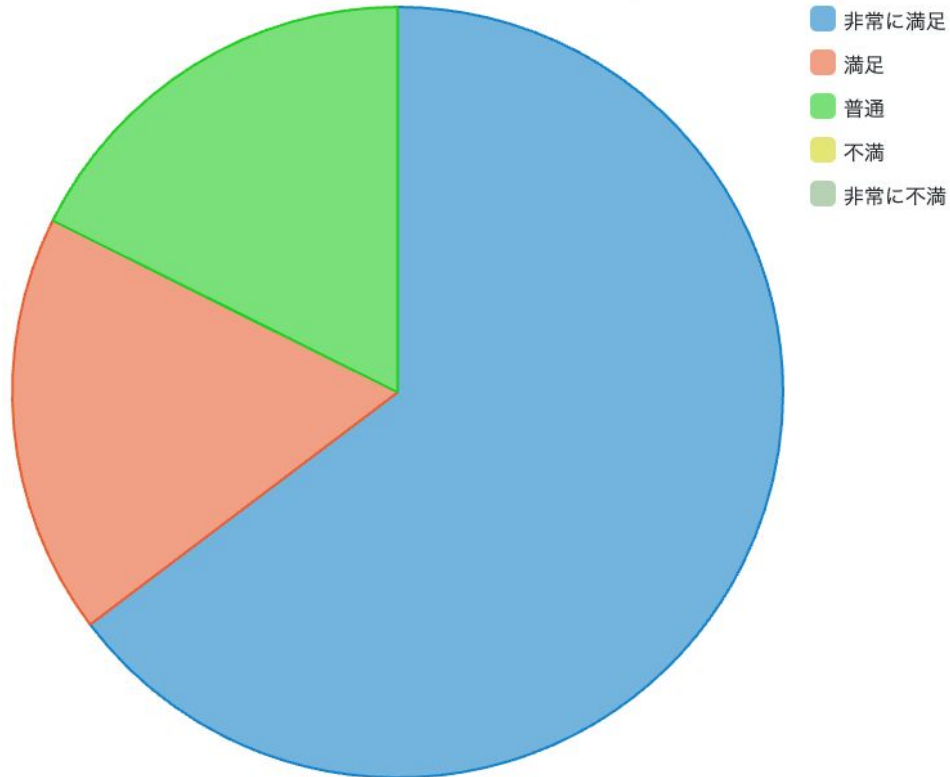
- お話しされていたように商用投入にはガバナンス観点の難しさはあるものの、スキルレス+AIエージェントでここまでできるというのがわかりやすく、興味深い内容でした。今後ここで得られた知見がNTT西日本さんでどう展開されていくかも気になります。
- AIとは関係ないですがDCIのアーキテクチャ部分が気になりました
- 商用化実現へ向けた課題解決について、是非議論させて頂きたい。
- 自動化のためのコントローラ、データモデルによる表現とかAPI連携とかあれこれの機能が整備されてるとAIの利用とかがやりやすくなるぞ、というのがよくわかる内容でした





AIが工事を担う時代に技術者は育つのか ～現地完結型が突きつけるスキル維持の課題～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	11	64.71%
満足 (A002)	3	17.65%
普通 (A003)	3	17.65%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	17	100.00%



感想/意見

- この辺の課題は自動化が進むと構造的に発生する問題で、スキルの維持とか人をどう育成していくかみたいな話を含めてプロセス設計が必要になるんだろうなと思いました。
- 現場作業というAIとの距離がやや遠い作業分野について、具体的なアプローチを伺うことができ大変勉強になりました
- 設定自動化がここまで進んでいるとは、驚きです。今回拝聴したプログラムの中で、一番先進的な取り組みだと感じました。
- 新設工事における部分での内容としてはわかりやすかったが、変更や撤去の工事ではチャットポットだけで成り立つのかとか、少し疑問に残りました。AIによる自動化は必須ですが、スキル維持はやはり必要かと思います。AIの動きを理解するためにはスキルがないといけないと思いますので

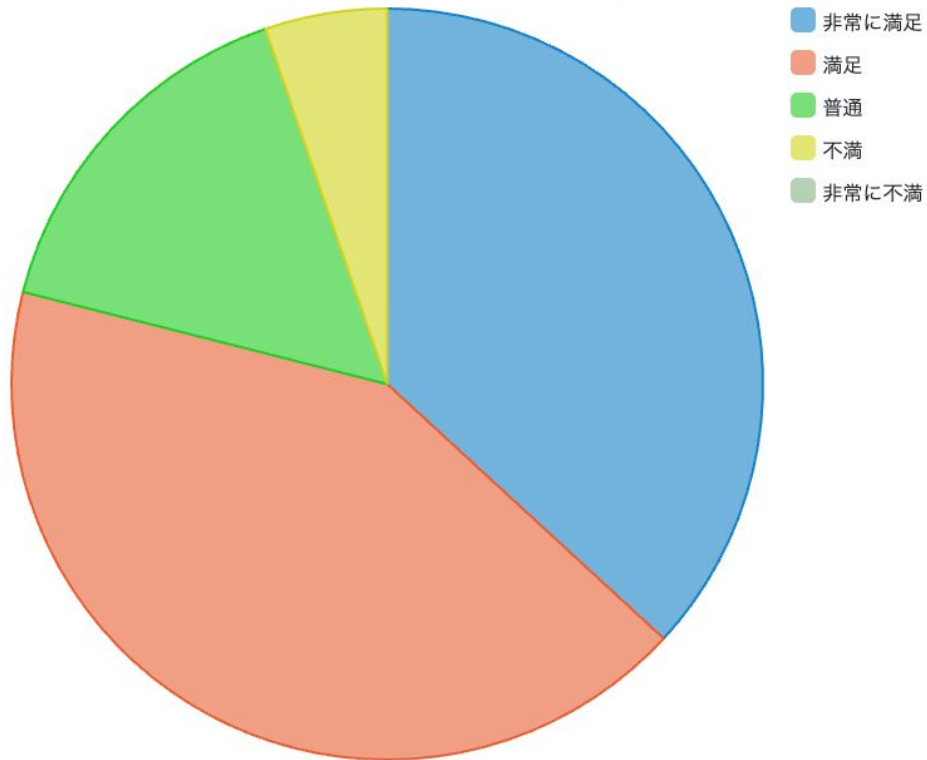




『坂の上の雲』へ続く道は、どこにあるのか — ネットワークに関わる人の最初の一步と、その先へのつながりを考える —

『坂の上の雲』へ続く道は、どこにあるのか — ネットワークに関わる人の最初の一步と、その先へのつながりを考える — の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	7	36.84%
満足 (AO02)	8	42.11%
普通 (AO03)	3	15.79%
不満 (AO04)	1	5.26%
非常に不満 (AO05)	0	0.00%
合計(総合)	19	100.00%



感想/意見

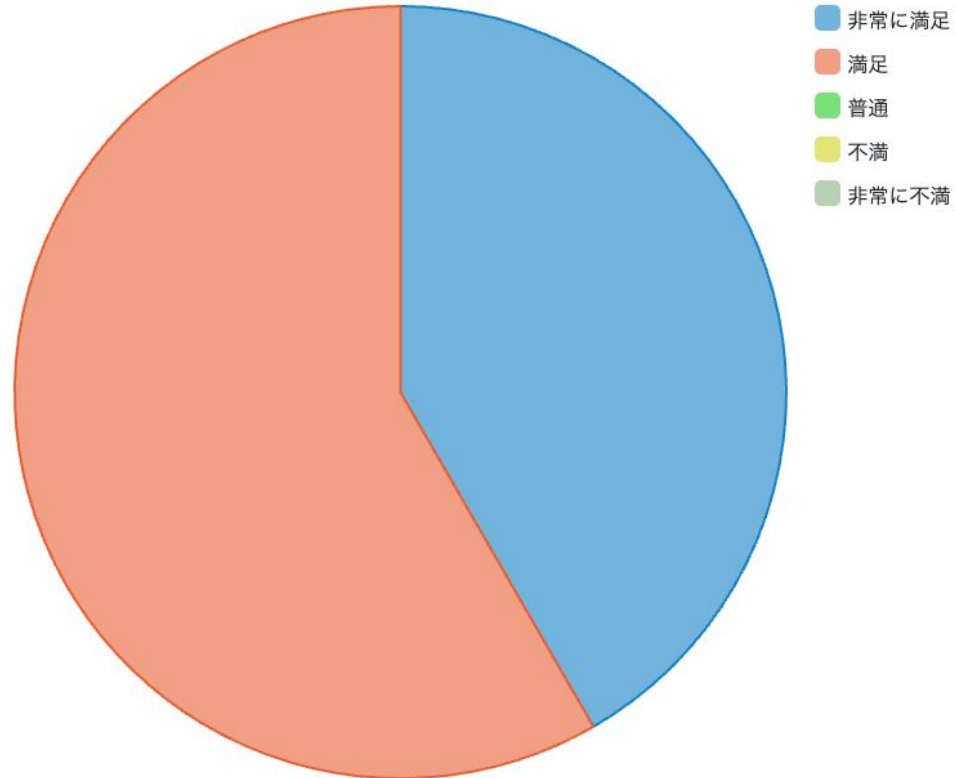
- 小さな会社は、JANOGのようなエンジニアのコミュニティの存在すら知らないし、仕事として若手を送り込むことも難しいのが現状です。
- ネットワークの説明にネットワークの用語を使っても個人的には面白くないような気がします。例えば、別の話題に例えとかネットワークが今の形になった歴史を話すと、ネットワークから遠いところからお話を持ってくると興味を持つ人が多くなるのではないかなと思います。
- 参加者は増えてるし、他の業界と比べても特に遜色はないと思いますので、問題意識が少々理解できませんでした。が、もしもっと若者を増やしたいなら、漫画シリーズを3本くらい作って面白いのは実写ドラマ化すると良いと思いました。
- 議論時間が短かった
- ゴールが見えませんでした。技術者の継承なのか、コミュニティの存続なのか、いろんな議題が混ざったまま議論を始めてしまった感じがします。
- 何を解決したいのかを、もっと練ってからプログラムに応募すると良かったのではないかと思います。
- ぶっちゃけ給料を上げれば入ってくる若者は増えるのでは。というのは半分冗談ですが、NWエンジニア含めて、ITエンジニアの社会的地位をもっと上げていく必要があると思います。(もちろんそのためにはエンジニアも尊敬される仕事をしないといけません)
- 登壇者のみなさまお疲れさまでした。ネットワークエンジニアの将来の道を開くための光が見えた気がしました！国もですが、地方から盛り上げられたらと思います。
- 皆で協力していろいろ行っていくのは重要なことだと思う
- それぞれの登壇者の方の発表はよかったのですが、5人集めて結局何がしたかったのかが理解できませんでした。





日本のBGP運用 の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	5	41.67%
満足 (A002)	7	58.33%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	12	100.00%



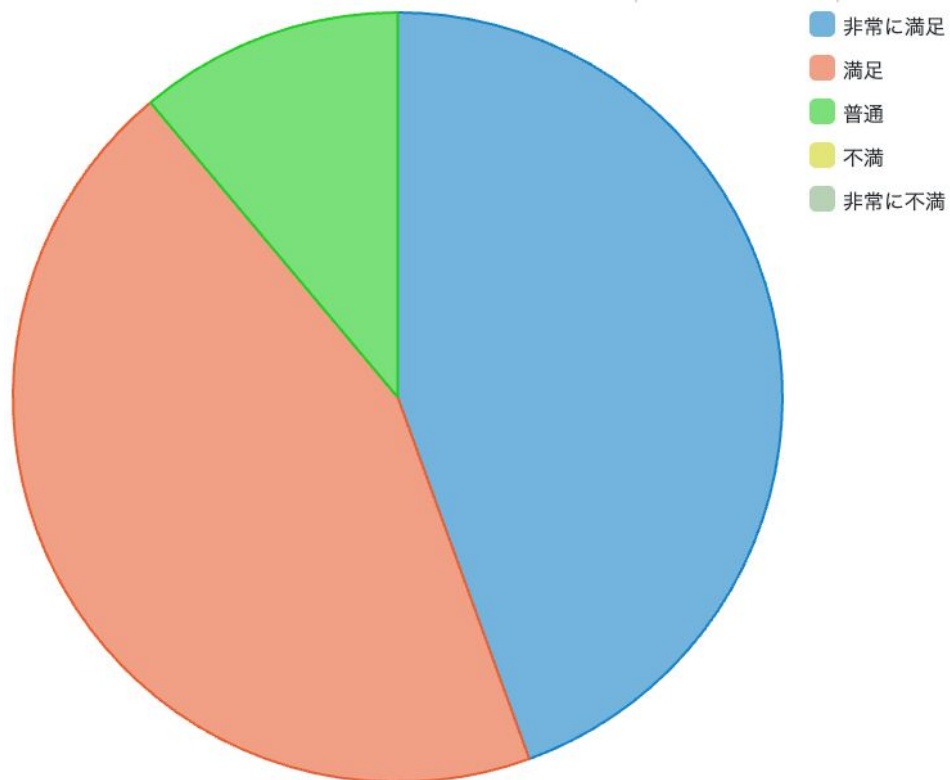
感想/意見

- どの分野でも、技術の継承、難しいですね。
- インタラクティブ議論がとても良かったです
- RPKIのアプローチは引き続き考えていかなければならないテーマだと感じた
- 他国の状況などは調べないと知る機会はなかなかないので、今後も定期的にアップデートほしい。



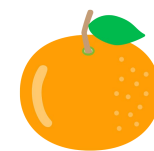
アドレスポリシーの成熟と継承～ポリシーの意義・将来を考えよう～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	4	44.44%
満足 (A002)	4	44.44%
普通 (A003)	1	11.11%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	9	100.00%



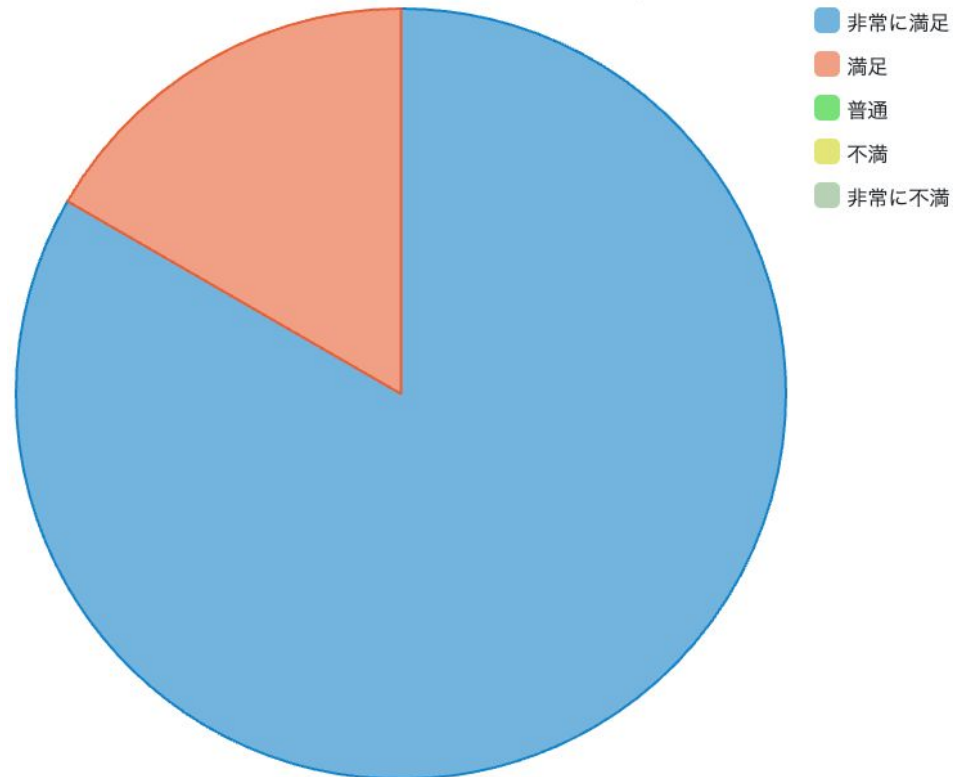
感想/意見

- 普段あまり気にしていないのでアドレスポリシーの世界があるとは新しい気づきがありました。あまりオープンな場では話しづらいかもしれませんが、アドレスリースなどドロドロとした政治？的な話も聞きたかったです
- なかなか、自分では困っていないから、最近はポリシーの議論にも参加できていません。IPv4アドレス枯渇のときは、自分ごとになりそうだったので参加していたのですが.....
- 情報として公開はされているのですが、このような機会がないとなかなか知る機会がないなと思いました。



朝から晩まで MCP — AI エージェントと私の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	10	83.33%
満足 (A002)	2	16.67%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	12	100.00%



感想/意見

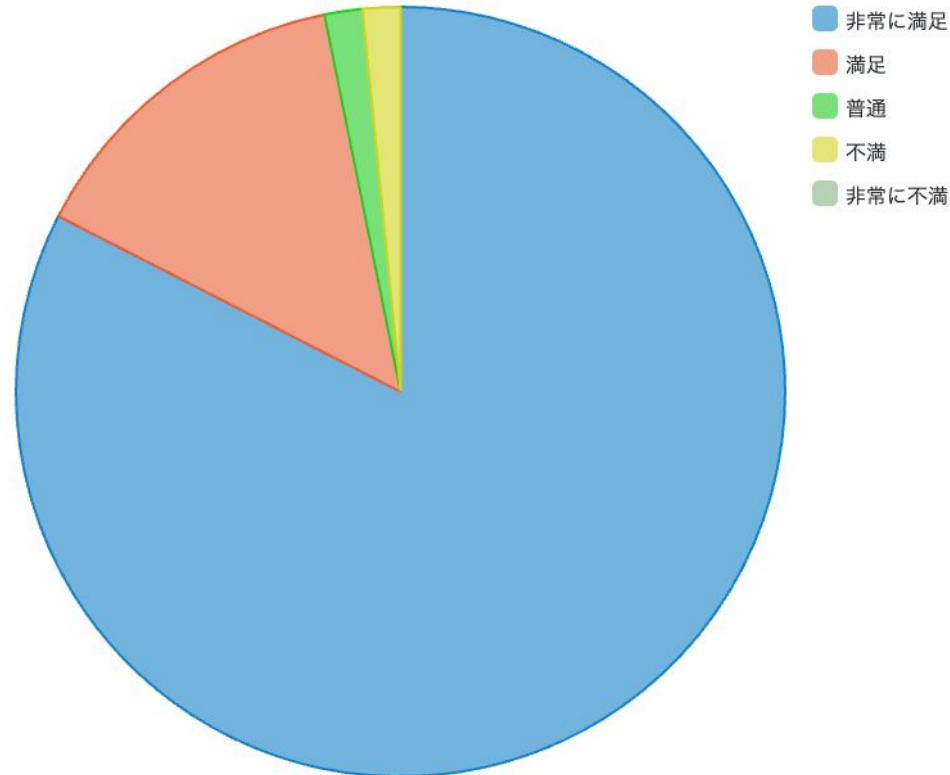
- MCPで運用オペレーションまで実用的な自動化ができていてすごかったです
- お堅い会社側としては大胆なことをやっていて羨望を感じました
- すごく楽しそうにMCPのことをしゃべられていて、技術者として非常に好感が持てました。
- 刺さった
- AIを非常に効果的に運用に利用されている例として非常に参考になったという反面、かなり登壇者のスキルにかなり依存しているように見え、自社で同様に活用できるかという一般化はしにくいといった印象であった。
- あんなにいろんなことを MCPや AIエージェントに任せているのだと驚きました。どこまで任せてよいのかとか、私も考えてみたいと思いました。
- 生々しくてよかった
- AIが普及したことで単純作業はAIで工数を減らし、人はツール開発に注力することで良い循環を生み出せると理想的な働き方になるのではと。また、AIツールに没頭してしまうのは技術者の性なのかと思いました。





NOCいよかんトーク～24/365のリアル語って、未来への「いい予感」創るぞなもし～の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	52	82.54%
満足 (A002)	9	14.29%
普通 (A003)	1	1.59%
不満 (A004)	1	1.59%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	63	100.00%



感想/意見

- ・ 若手のNOCで働く方々のリアルな声を聞くことが出来てとても楽しいセッションでした。もっと長くお話を聞きたかったです。弊社にも運用部隊がいて、彼らも同じような悩みを持っていると思います。参考にさせていただきます。
- ・ 若手が考えている本音を率直に聞くことができてよかった。
- ・ 若手や女性特有の輪番課題について深い議論ができてよかったです
- ・ 若い方の意見や考え方聞けて良かったです。
- ・ 未来のNOCをささえるメンバーのいい声が聞ける良いプログラムだと思いました。
- ・ すばらし
- ・ SOCにも適用されるところが多くありがたかった
- ・ よかったオンコール対応してる人が少なくて驚きました
- ・ 3日間きいたセッションの中で一番良かったです。
- ・ 苦労を共有して、皆で解決していくのは楽しいですね。
- ・ 若者特有のトークテーマがすごく刺さった。
- ・ NOCの働き方について知れた
- ・ NOCではないのもあり、女性どうしてんだろ？と思ってたのが理解深めれた
- ・ 若手のみなさんの熱い思いが伝わりました
- ・ トークが真面目一辺倒でなく面白みもありながら、NOCの問題に関しても考えさせられる内容だった。
- ・ とても会社を跨いだいい話をきけました。是非続けてください！
- ・ 女性が当直業務するために必要な環境を教えていただきたいです
- ・ リアルな声が聞ける貴重なセッションだと思います。
- ・ 若い女性の意見を聞けて心強かったです
- ・ NOCの生の声を交換できるのも、NOGならではのと思いました。

(次頁へ続く)





感想/意見(続き)

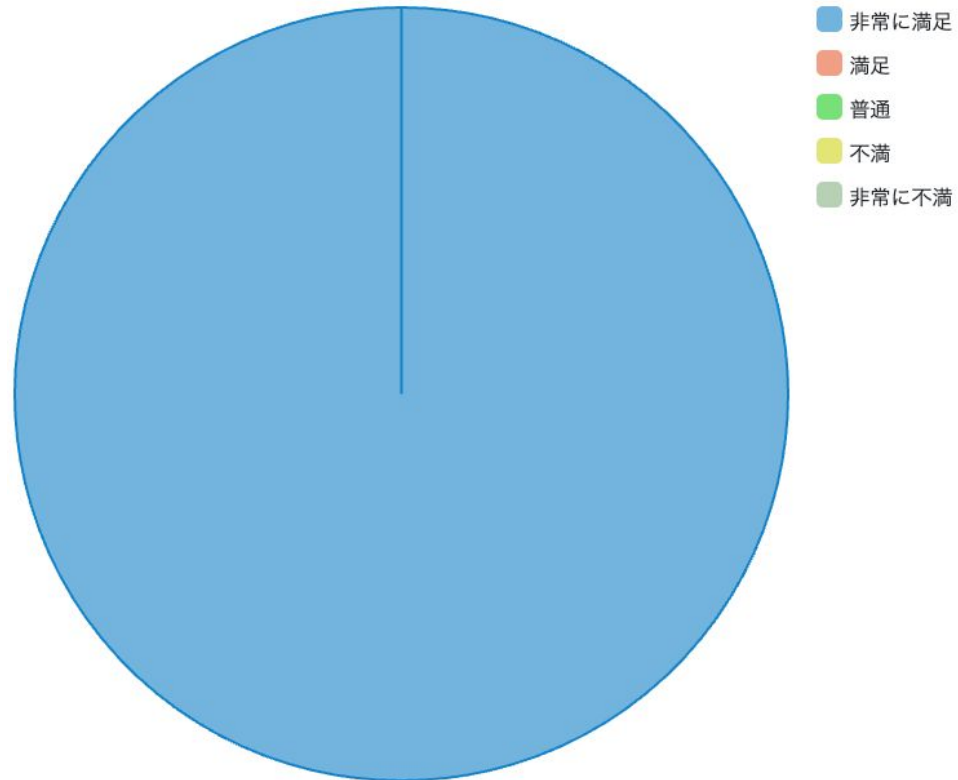
- NOCという各ISP事業者に確実に存在するが、数は限られている組織の方々が、事業者の垣根を越えて実施しているこの企画、素晴らしいと思います。今回、NOCを一番働きたい部署にするというテーマはなかなか面白いと思いました。私もNOCに所属している時期があり、社内にもNOCの良さが伝わってないと感じて、ブランドイメージを作り上げるのに苦労した想いがあるからです。NWスキルがない若手の方でも楽しみながら日本の通信を支えていることがわかりとても良かったです。ぜひ次回も新たなメンバを迎えてセッションを開催してもらいたいです。
- 若手が頑張る姿がよかった。また、女性特有の課題が赤裸々に語られており、学ぶことと実践の難しさを改めて認識し、自分の部下との接し方を考えるよい機会となった。時たま女子会感があったことが、会場にどう映ったのかが少し気になる。また、会場とのコミュニケーションの少なさがわずかに残念。
- 能力評価と体調による調整のバランスは難しいと感じた
- JANOGでは沢山の最新技術や導入事例などが紹介・議論されることが多いが、「NOCが働きたい仕事ランキング1位になるためには？」のようなノンテクニカルながら業界やオペレーターにとって重要な事項がここまで深く議論されることがあまりないように感じています。こういった日常あるあるながら今までにない議論をより深掘りできればと思いました。
- NOCのリアルが聞ける機会はこのセッションぐらいなので毎回楽しみにしていますが、今回もとても楽しくて有意義でした。運用向けのツールを作ったりする上でNOCのリアルを知ることとはとても大切なことなので、これからも続けて欲しいと思います。
- 最後のみでなく、参加者の方とプログラム中にも議論ができ、双方が対話できる良いプログラムだったかと思います。その場だからこその言えることもあり、大変議論が盛り上がるプログラムだったかと思います。
- 若手やNOCの参加というコンセプトは良いが、回を重ねるごとに少し本講演として採択するレベルからは遠ざかっている印象。





マルチベンダーバックボーンで実現するDDoS対策 ～RFC Internet-DraftのBGP Flowspec Redirect-to-IP導入への挑戦～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	8	100.00%
満足 (A002)	0	0.00%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	8	100.00%



感想/意見

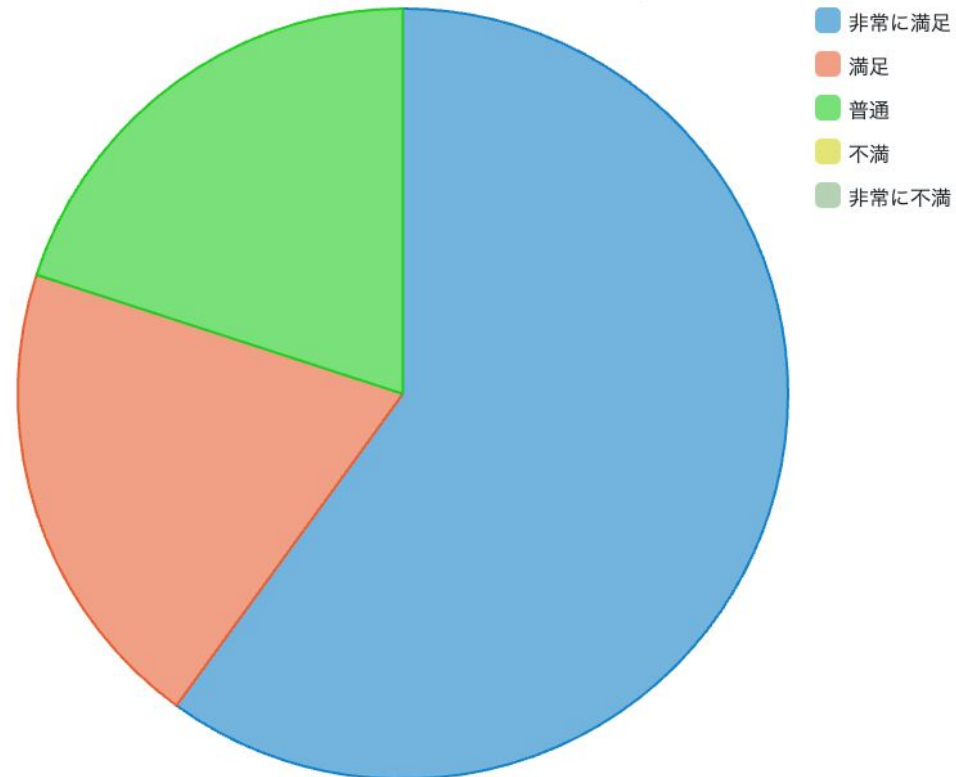
- 現場の泥臭い部分も垣間見ることができ、非常に面白かったです。発表ありがとうございました。





NWトポロジー可視化から時系列化へ: BGP-LS+BMP+αによるトポロジー把握の時間軸拡張 の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	6	60.00%
満足 (A002)	2	20.00%
普通 (A003)	2	20.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	10	100.00%



感想/意見

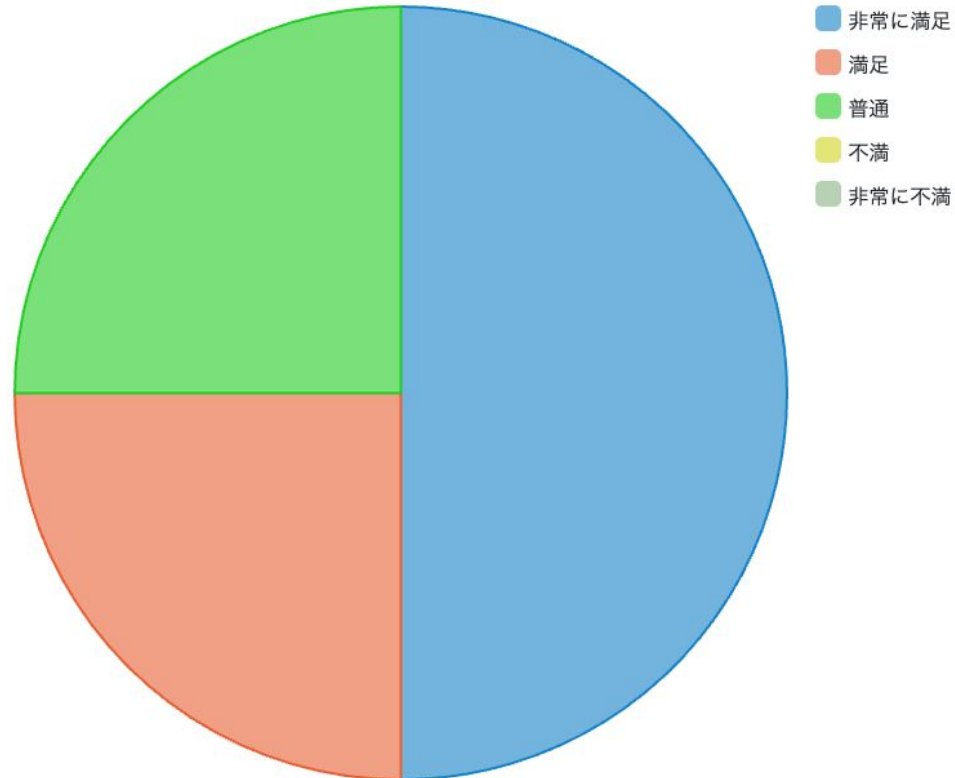
•





ユーザ影響規模に縛られない次世代夜間作業の作法 ～止められないNWを、止めずに変える～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	2	50.00%
満足 (A002)	1	25.00%
普通 (A003)	1	25.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	4	100.00%



感想/意見

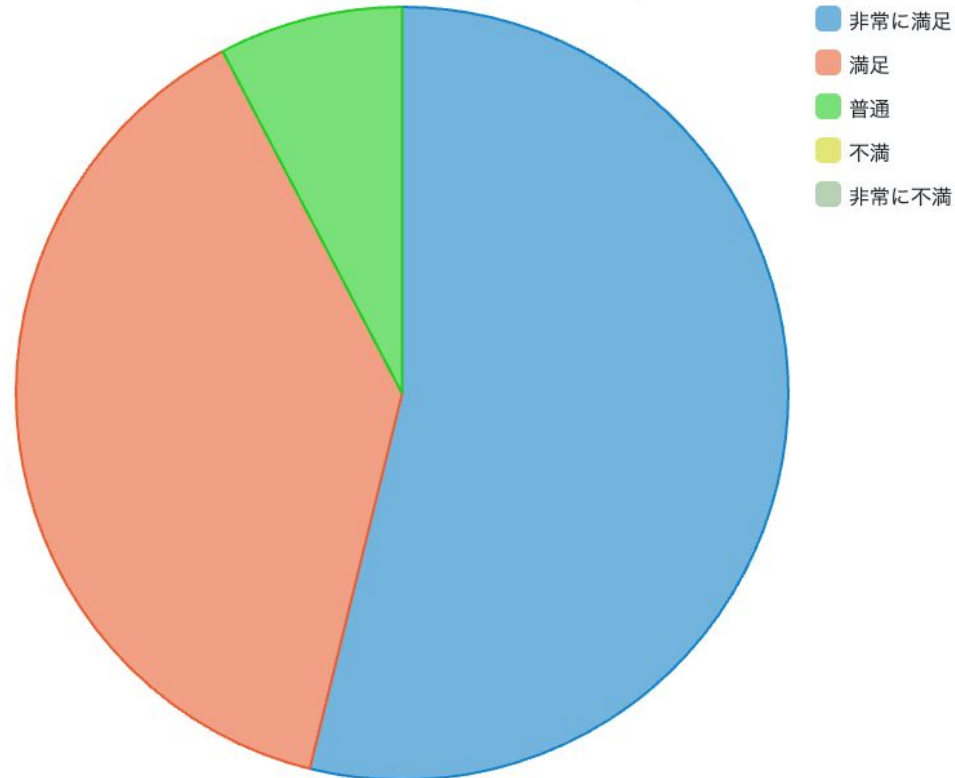
・





AIインフラ時代のデータセンター内光配線の実践知 ～高密度実装の課題と解決策～ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	7	53.85%
満足 (A002)	5	38.46%
普通 (A003)	1	7.69%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	13	100.00%



感想/意見

- 日本も世界の先端配線の実例を示すことができるほど、挽回してきたなあ、と思いました。このまま先端ポジをキープして欲しいです。

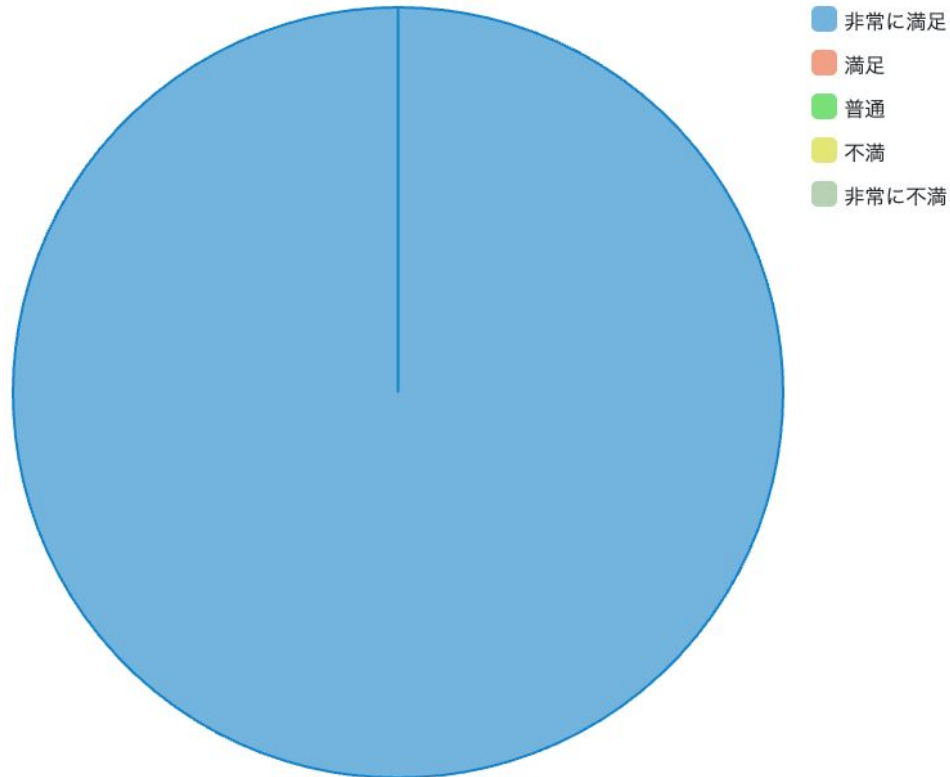




JANOG57で話題となった、ネットワークの基礎を学べるボードゲームで一緒に遊びませんか？

JANOG57で話題となった、ネットワークの基礎を学べるボードゲームで一緒に遊びませんか？ の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	4	100.00%
満足 (A002)	0	0.00%
普通 (A003)	0	0.00%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	4	100.00%

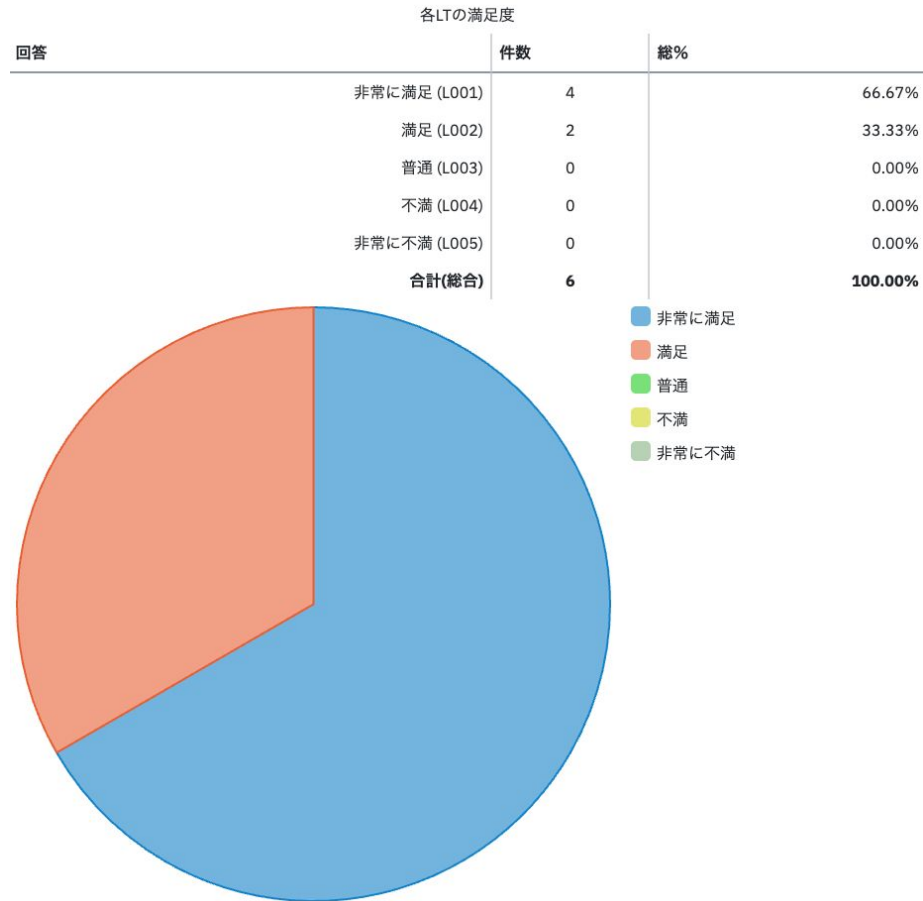


感想/意見

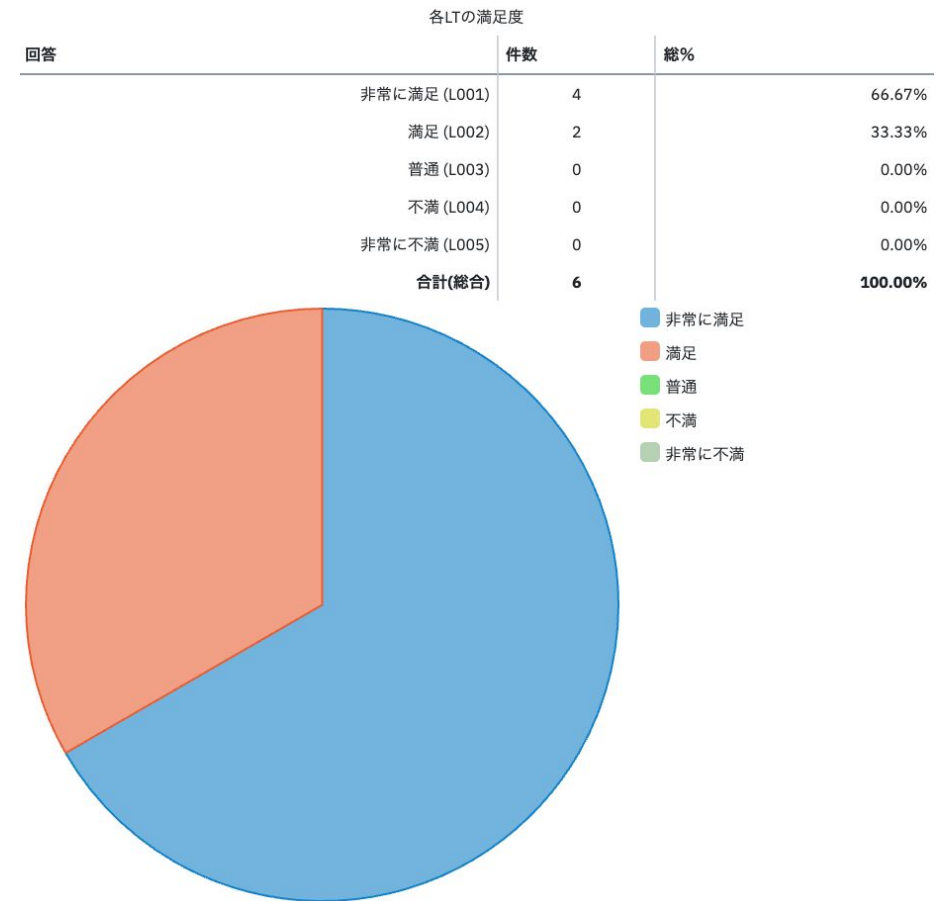
- とても楽しかったです。難しいからこそ楽しさはあると思っているのでこのルールで良いかと思うのですが、まだルールブックに足りていないルールがあると思いました。例えば、3個以上置くときにプラスで得点を使わなければならないという点などがターンでということなのか全てのターンで3個超えたらなのか最初わかりませんでした。そう言った部分が改善されるとさらに楽しくなりそうです。市販やダウンロードもできるようになって欲しいです。



LT1: コードの 99%をAIが書くネットワーク運用部署の次の課題

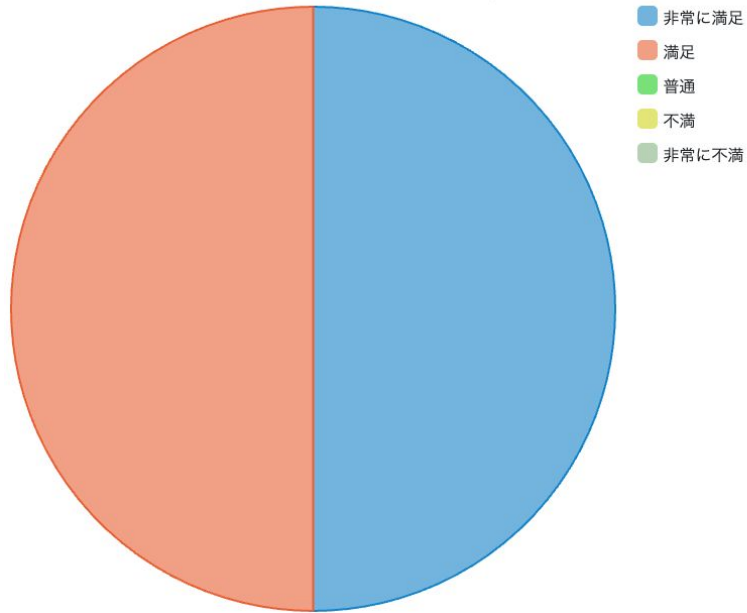


LT2: Jupyter Notebook x データAIエージェントでつくる Agentic Loopなネットワーク検証プロセス



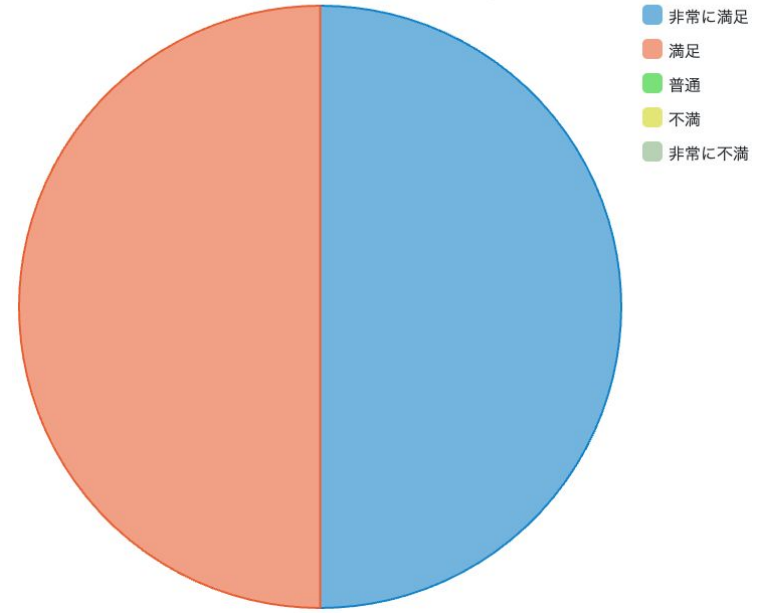
LT3: Devinに検証環境を丸ごと渡して、設計判断の材料集めを任せてみた

各LTの満足度			
回答		件数	総%
非常に満足 (L001)		3	50.00%
満足 (L002)		3	50.00%
普通 (L003)		0	0.00%
不満 (L004)		0	0.00%
非常に不満 (L005)		0	0.00%
合計(総合)		6	100.00%



LT4: LLMで3GPP標準化提案文書を読み切る ～要約させたら突然ハングルが出てきたので工夫した話～

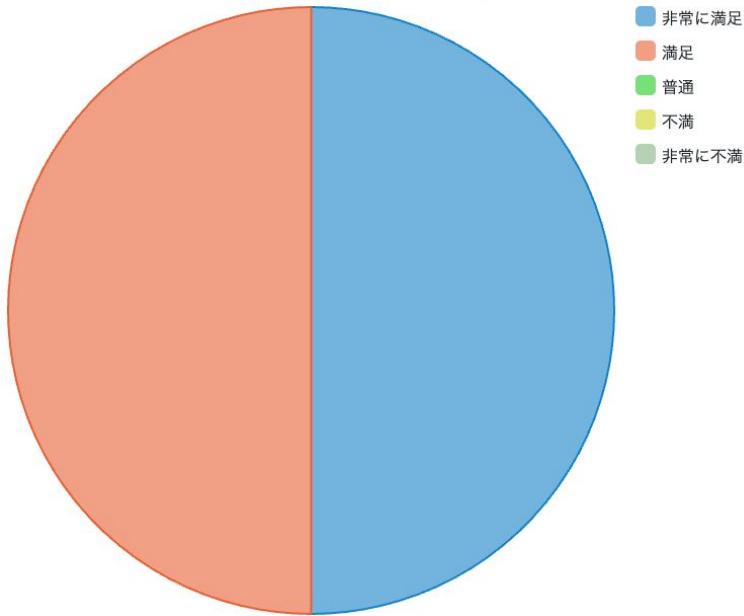
各LTの満足度			
回答		件数	総%
非常に満足 (L001)		3	50.00%
満足 (L002)		3	50.00%
普通 (L003)		0	0.00%
不満 (L004)		0	0.00%
非常に不満 (L005)		0	0.00%
合計(総合)		6	100.00%



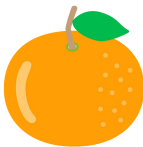
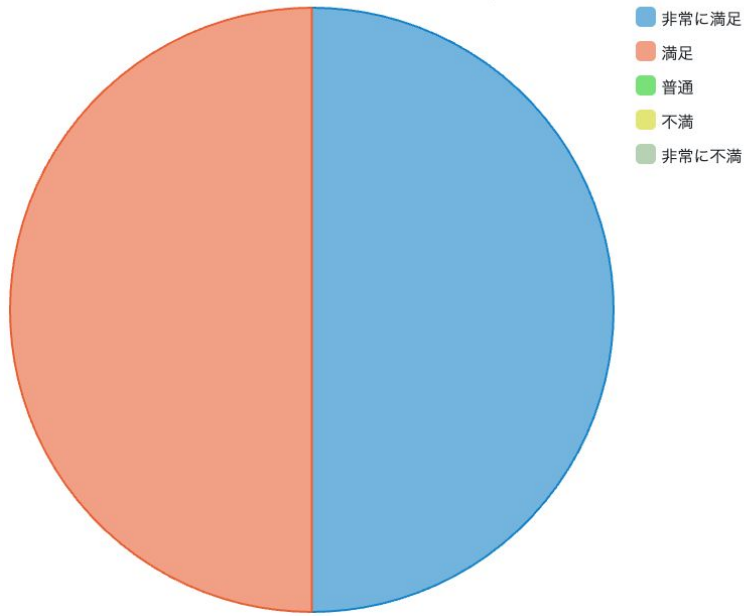
LT5: プライベートクラウドのテナントサポートを支える AI活用3つの事例～問い合わせ対応、AIChatログ分析、AI回答精度評価～

LT6: DNSのオブザーバビリティ向上開発での AI活用

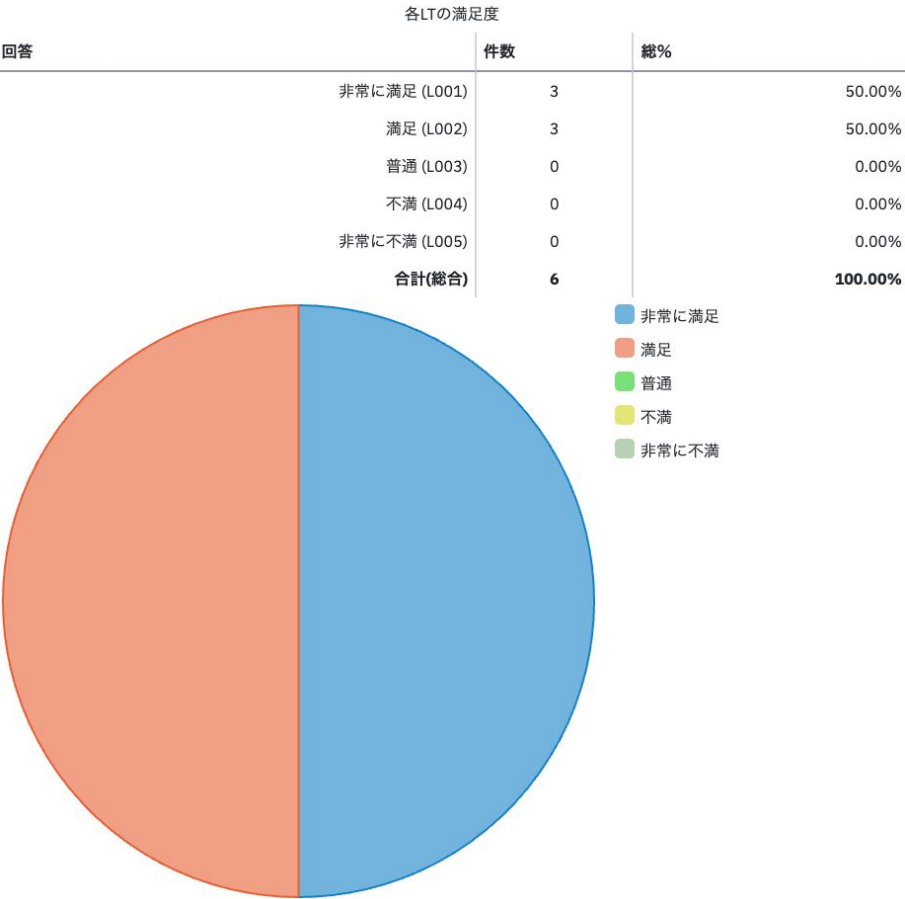
各LTの満足度			
回答		件数	総%
	非常に満足 (L001)	3	50.00%
	満足 (L002)	3	50.00%
	普通 (L003)	0	0.00%
	不満 (L004)	0	0.00%
	非常に不満 (L005)	0	0.00%
	合計(総合)	6	100.00%



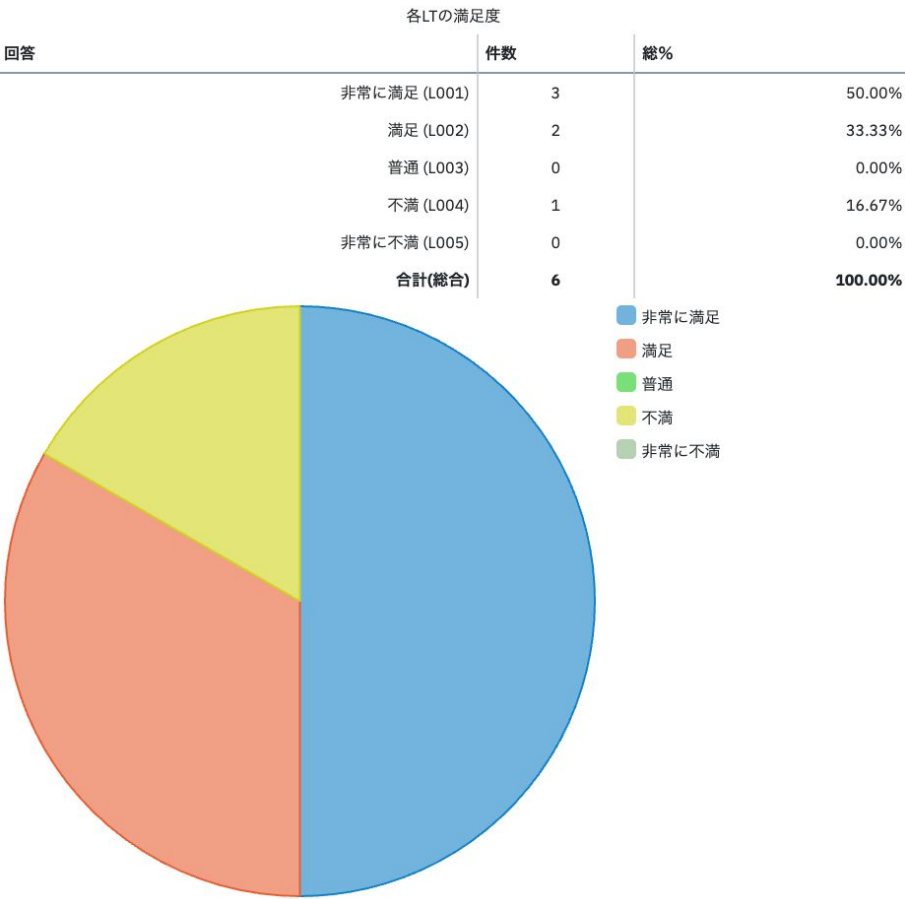
各LTの満足度			
回答		件数	総%
	非常に満足 (L001)	3	50.00%
	満足 (L002)	3	50.00%
	普通 (L003)	0	0.00%
	不満 (L004)	0	0.00%
	非常に不満 (L005)	0	0.00%
	合計(総合)	6	100.00%



LT7: セッションログを LLM で分析してみた話



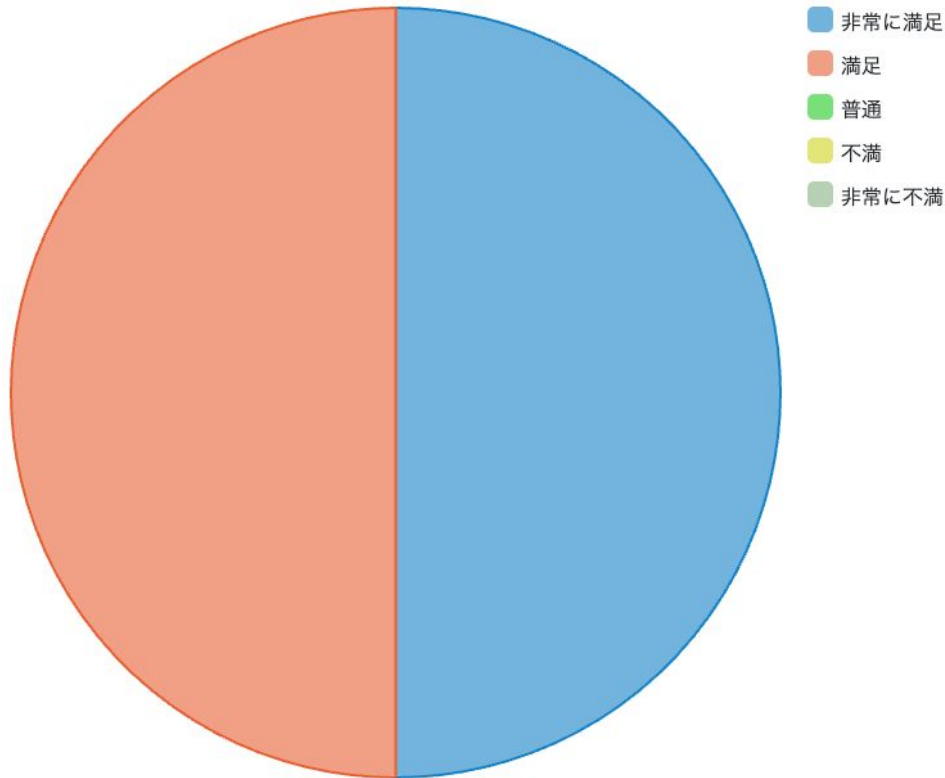
LT8: 大規模ハンズオンイベント会場における配線プランを AIに作ってもらう話





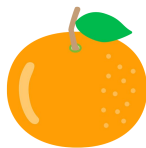
コミュニティ紹介LT -JANOGから広げる繋がり- の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (AO01)	1	50.00%
満足 (AO02)	1	50.00%
普通 (AO03)	0	0.00%
不満 (AO04)	0	0.00%
非常に不満 (AO05)	0	0.00%
合計(総合)	2	100.00%



感想/意見

・

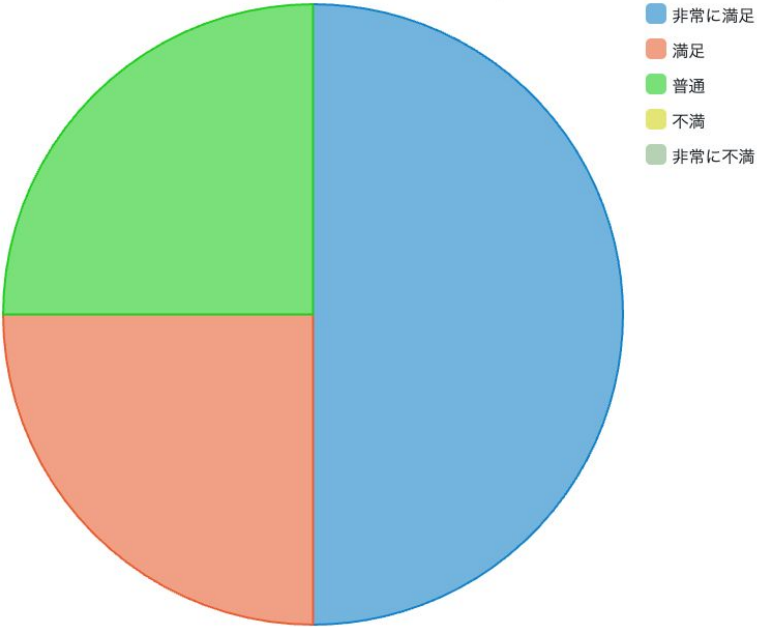


LT1: 脱・人間計算機！ AIで光NWグランドデザインの“手作業地獄”から抜け出す～全パス
網羅評価でエンジニアは「計算」から「判断」へ～

LT2: 証明書が47日に短縮されます

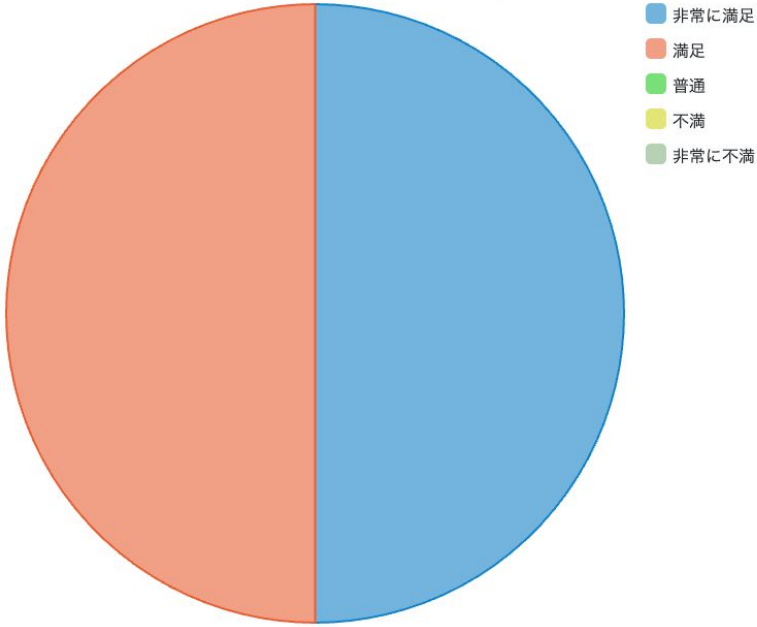
各LTの満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (L001)	2	50.00%
満足 (L002)	1	25.00%
普通 (L003)	1	25.00%
不満 (L004)	0	0.00%
非常に不満 (L005)	0	0.00%
合計(総合)	4	100.00%



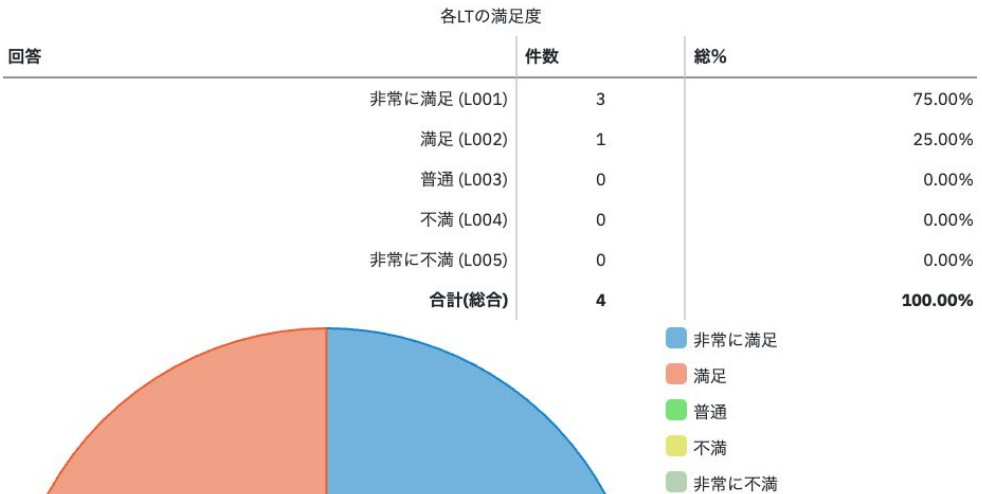
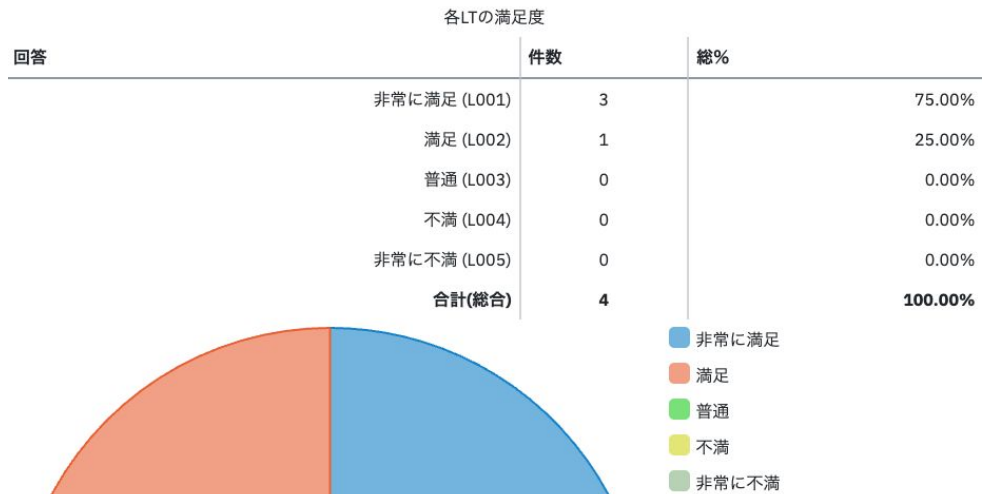
各LTの満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (L001)	2	50.00%
満足 (L002)	2	50.00%
普通 (L003)	0	0.00%
不満 (L004)	0	0.00%
非常に不満 (L005)	0	0.00%
合計(総合)	4	100.00%



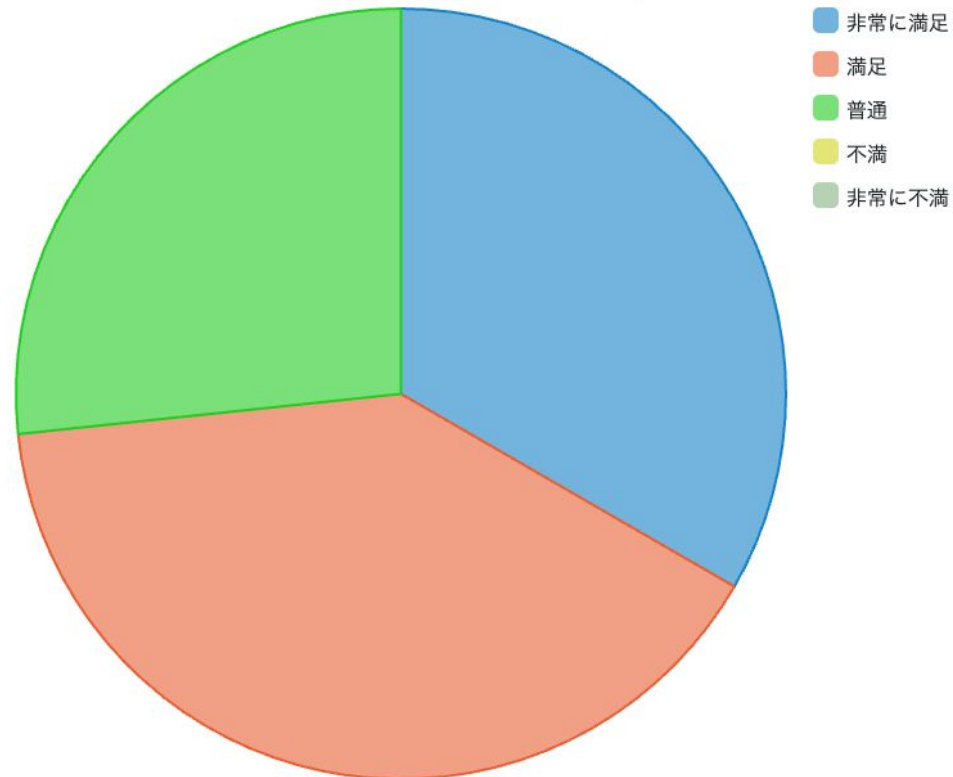
LT3: DGX Sparkで5G UPFを動かしてみた

LT4: ネットワークエンジニアが読むべき PQC移行に関するガイドラインの紹介



JANOG Update + オープンマイク の満足度

回答	件数	総%
非常に満足 (A001)	5	33.33%
満足 (A002)	6	40.00%
普通 (A003)	4	26.67%
不満 (A004)	0	0.00%
非常に不満 (A005)	0	0.00%
合計(総合)	15	100.00%



感想/意見

- 協賛社の選定方法については、先着/抽選のどちらかとするのではなく、先着枠/抽選枠をそれぞれ設けてみるのが良いのではないかと聞いていて思いました。枠の数は議論や試行錯誤していく話かなと思います。
- 率直な意見のぶつけ合い、良かったと思います。進行役が、冷静に対応していたのが好印象でした。
- 運営委員の方も促していましたが、発言時はしっかりマイクで発声いただくよう案内してほしいです。マイクの近くで発言者同士で会話して完結、だと勿体ないので。
- 今回、プログラムの採択について議論されていましたが、全セッションの1/4近く(33本中8本)でPCが登壇されており、特定のPCが4本も登壇されているのは流石に偏りを感じました。PCの登壇自体を否定するわけではありませんが、1人あたりの登壇枠数制限など、バランスと公平性を考慮したプログラム編成をお願いしたいです。





JANOG 58

MEETING IN MATSUYAMA